

パブリックコメントの実施結果

	意見内容
1. 伏木中学校区 男性 60 代	1. 下記のことより判断 1. 子供の観点・保護者の視点に立って判断 2. 来年度新入生（1 年生）の人数、今後の予測数から判断 3. コミュニティ（自治会の活動）は従来と変わらない。 3 点から判断すれば、小中一貫校教育はやむを得ない。かえって、もっと推進すべき。 長期→短期（6 年） 2. 課題 1. 小学校（低学年）の通学が懸念される。 →きめこまかいスクールバスの運用 →大型バスでなく小型車による運用 →高齢者の買い物・通院など含めた検討 3. 会議の進め方 1. 事例を多く報告して欲しい Exp. 福岡中学校などの進んだ事例紹介。今進めている学校の事例報告など
2. 伏木中学校区 男性 70 代	○伏木中学校区での市民懇談会が昨日行われました。教育委員会（教育長）や地域の方々がどんな意見をお持ちなのかが知りたくて出席させていだきました。教育委員会（教育長）や地域の方々の意見を聞きながら思ったことについて述べてみたい。 1. 伏木中学校区の年少人口が他の地区と比べても減少が著しいというデータを聞いて ① 日頃から子どもたちの姿が少なくなっているということを肌で感じていて、もやもやしていた感情がありました。しかし、今回、伏木地域の人口減少の実態について客観的な資料を提示していただいたことから、改めて、心新たに、タイムリーに「これから伏木中学校区内の未来に生きる子供たちの成長にとって最善の教育環境づくりを伏木・古府・太田地域の方々と協力を得てスピード感をもって具体化していかなければ、将来の孫達に禍根を残すことになる」とつくづく実感させられました。そんな意味で、今回の教育委員会（教育長）提案の決心・決意・勇気に心から敬意を表します。 ＜今後の統合に向けスピード感をもった具体化への危惧感＞ ア 地域内（伏木・古府・太田）でのコミュニケーションづくりの実態がどうなのか。 イ 伏木地域の連合自治会やその他各種協議会での統合に向けた協議がどの程度実施されているのか。 ※＜提案＞今回、教育長が伏木の出身であることが、伏木地域の統合に向けて、何かの縁を感じている方々がたくさんいるのではないかと考えています。教育長を座長とした伏木中学校区統合問題協議会を作って伏木中学校区のよりよい方向が示せるよう期待したい。 2. 統合に伴う小中一貫教育の実施に向けて ① どのような形態が望ましいのか。 小学校と中学校が併設の形態が提案されているが、今後の年少人口の超減少地区であることから、国吉中学校区で実施検討されている義務教育学校の形態も伏木中学校区の統合問題の検討内容に入れることが必要である。 ② どこに設置するのか。 現在の伏木中学校に併設できるのではないという提案だったように思う。 現在、高岡市の財政再建問題が小学校の再編・統合を論ずる動機づけのように受け止めている。 そのことから、 ア新たに統合された小学校を伏木中学校の敷地内に建設して設置するのかどうか。 イそれとも現在の伏木中学校の校内に統合小学校を設置するのかどうか。 その際、小学校設置条件として必須な事項について現在の中学校舎ではクリアできない内容などを明示し、その部分だけを新たに建設することも検討内容に含める。（例えば小学校用の講堂のようなものが必要ではないかと感覚的に思う。） ③ 9 年間のカリキュラムに伴う制度の検討内容の公開 ア 6・3 制のカリキュラムづくり イ 4・3・2 制のカリキュラムづくり 3. 新たに設置される校舎へ通学することに伴う子供たちの負担に対する対策 ① 通学に伴うスクールバスの設置 ア 伏木・古府・太田地区の子供及び老人が利用できる ② 通学に伴う費用の無償化
3. 五位中学校区 男性 70 代	学区への意見 ：石堤と西広谷は市に合併する前は、同じ石堤村であったことから、今も西広谷は石堤連合自治会の一員であります。一中学一小学校に言う安易な考えであれば、国吉校下はいずれまた廃校のうきめに合うと思うので、適正規模を目差すのであれば、新五位中と国吉を一体にした校区が望ましい。 今のままの状態であれば、予測よりも早く少子高令化が進むであろう。市長を始めとする、職員が丸一となって、課や係の垣根を越えて市の財政を考えた行政をこれまで以上に取り組んでいただきたい。 学校名について ：現在の五位中の五位は、奈良時代、この地方を治めていた天皇の末裔の砺波臣志留氏（となみのみしるし）が東大寺大仏の建立時に多額の寄進をし、五位の位に叙せられた。そこでこの地方に保有する荘園を「五位の殿の荘園」という意味で「五位の荘」と呼んだ。「五位の荘で一番の学校となるように」との意味を込めたこのままの「五位中」でよいと思うので、当然小学校も五位小とすべきである。 東五位と立野と石堤は近いけれども小矢部川が流れているために、石堤は離れ小島の様である。よって、小矢部川に橋を新設してもらいたい。（国吉には、対岸を結ぶ橋が 3 本もあるのに、石堤には一本もないのが現実である。）
4. 南星中学校区 男性 60 代	人口減少 高齢化 避けられない。 ＜意見内容＞ 1) 同一敷地内における小中一貫教育？ 地域一貫教育 小中のみならず地域住民一貫 学校教育 社会教育 エリア内の様々な施設を融合した地域に 例 博労地区、ふれあい福祉センター、博労小学校、博労公民館、高岡市社会福祉協議会 2) 教員は授業が中心 下記の項目などの軽減化 A. I、英語、土曜活動 全て抱え込むのは無理。 保護者対応、学校開放、通学路の安全確保、町内会・地域協力活動 等 地域の高齢者などでも自分からは言いませんが、知識をもった人材の方がいます。 （例）70 歳代で IT に詳しい人はコマンドの時代から行っているから基本は詳しい。 海外赴任経験のある人は、(TOEC) の資格はなく流暢な英語ではないが相手に通じる。 （国際交流協会に登録している方、通訳案内士 等） 3) (教員に対する期待 丸投げ) ここまでは、教員はできるがこれ以上は別の団体に引き継ぐというラインの明確化。熱意だけでは擦り切れる。 追伸 自治会 老人会がほとんど同じメンバーで中間年齢層が少ないですから早急に大まかな指針を示して動いてください。 人口減少、高齢化により自治会維持が危うい。 出席した方の内 10 年後には何人元気か？

5. 芳野中学校区 男性 40代	・小中一貫教育において、現在小学校では担任制、中学校では教科別での学習ですが、どう方向性で行くのか？もう少し具体的に出すべきでは。 ・現在の子供の数での10年を考えるだけでなく、市、教育委員会が連帯し、人口を増やすことを考えるべきではないか。 ・英語、道徳、プログラミングが教科化するための人材をどうするのか。プログラミングのためのPCをそろえる財源をどのように出すのか。 ・学校の先生が大変苦勞（時間的にも）するのが目に見えています。教育委員会、市としては、人材の量、質についても増すことをとめます。 ・小学校、小学生のメリットばかりを検討等されているように感じてしまうのですが中学校、中学生のメリットが見えてこない。もう少し説明をしっかりとしてほしい。 ・小中一貫なので英語、体育、音楽等の特化している学校を作ってはどうか？他市から子供を集めるきっかけになるのでは？ ・芳中、高陵、志貴野が近すぎるのではないかと？志貴野をあの場所に建てる意味があったのか不明です。
6. 芳野中学校区 男性 40代	基本的な方向性については児童を持つ親としては理解できるところである。 ここで取りまとめた方向についてはなるべく早く実現するための計画を示し、進めていただきたい。 また、校舎の老朽化についても目を向けていただき、計画的な改築を進めていただきたい。
7. 高岡西部中学校区 男性 40代	・高岡西部中学校区の小学校統合に対して、やはり通学距離が長くなってしまふ為、移動手段（バス等）の確保をしっかりと対応して欲しい。 ・可能な限り駐車場スペースも多く取って頂けると助かります。 ・統合により使用しなくなる校舎を有効活用して欲しい。特に体育館は利用率が高い為、残せるなら残して欲しい。
8. 芳野中学校区 男性 30代	小中一貫教育に賛成です。 私は中小企業の経営に携わっていますが、近年の高卒新入社員には、通常家庭教育において身に付けているであろう善悪の判断、規則正しい生活習慣、協調性が欠落している者もおります。家庭・学校でともに教育されていない者の教育を中小企業の人材育成の中で行わざるを得ないのかと感じることもあります。 そのような中で、小中9年間で少しでも多くの人と出会い、多様な経験をすることで、上述の性質を補完できる教育体制を整えていただきたいと考えております。
9. 志貴野中学校区 男性 40代	（1）自身が小3時に学校統合を経験し、諸活動の範囲が拡大した（スポーツ少年団の新設、プラスバンド創設など）記憶も含めて、統合を好意的に捉えていた。 （2）通学が遠くなることは子どもの感覚としては気にしなかった。クラスが増えるため、団体としての対抗意識（競争意識）の醸成には寄与していたと思われる。 （3）統合校PTA会長を2年経験し、複数の行政区が存在しても学校運営にはあまり影響がないと感じる。ただし自身よりも先輩方（統合校非卒業生）には非協力的な部分垣間見えることもある。なお近隣の市立保育園統合で保護者融合は更に進んだ。 （4）統合が進むと絶対的な総クラス数が減るため、新規教員確保の労苦が減り、また無理やり採用枠を確保する必要も少なくなり、教育の質の向上に役立つ。 （5）文京区を念頭に“良質な教育環境は良質な移住者を生む”と考えている。町なか再生は商業ベースと教育環境整備の両面から考慮すべき。都市資本の高岡事業所転勤者がこの地を気に入り、居住ベースを当市（家族を住まわせて自身が再転勤）にする確率も高く、その居住地は市民病院前～広小路丸の内近辺、駅南エリアに集中している。 （6）耐震済の空き校舎は解体せず、老朽した市施設の転入や“創業拠点としての空間貸出“など財務面での工夫をする。創業目的移住者には空き家入居も勧める。 統合対象の行政区役職者、保護者組織にとって最初のルール化は大変だと推測するが、児童の環境と街の魅力づくりには寄与すると予測し、当計画を全体的に支持します。
10. 福岡中学校区 男性 40代	小学校統合については、学校が遠方になる事で保護者の負担が多くなるため、スクールバスの運行や学童保育におけるさらなる生徒の受け入れが必要だと思ひます。 小中一貫教育については、小中での生徒の年齢に差があるため、生徒同士が接触した場合に低学年の生徒がからかわれたり、怖い思いをしたり等のトラブル対策が必要であると思ひます。また、生徒数が増える事で部活動やスポ少の数も増えた場合の体育館や運動場等の設備の充実も必要だと思ひます。
11. 国吉中学校区 女性 50代	子供が多くの関わりの中で思いやりの心を育み、多様な考えに触れながら学びを深めていくことから、統合は前向きに捉えています。複数の地区で再編統合に向けて動くので、相互に情報交換しながら、地元住民の気持ちを大切にしながら進めていただきたいと思います。ハード面は行政に任せざるしかありません。「主役はこども」いろいろ大変だと思いますが、子供たちが生き生きと元気に学校生活を送ってくれることを一番に考えていただきたいと思います。 児童、幼少期を過ごした父母、祖父母にとって母校が『なくなる』喪失感というのは、計り知れないものがあるのではないかと思います。仕方がないとは思っても、寂しいです。子供たちには、自分たちのふるさとを愛し続けてほしいなと思ひます。そして、さらにスケールの大きなふるさとを守っていけるよう、私たち大人は子供のモデルになるよう、統合に向けて力を合わせていかなければいけないのかなとも思ひます。 学校では、ふるさと教育を充実させてほしいです。地域人材をうまく活用できるよう、コーディネーターを特別に配置するといいと思ひます。教員ではなく、支援員のような形で専門に手配してくれる方がいれば、教員の負担も減ると思ひます。 いくつもの学校が統合すると、子供たちの周りの環境は一変します。うまく対応できない子もきつーというと思ひます。ただでさえ、小規模校の児童が中学校進学でうまく対応できない、というケースがあります。スクールカウンセラー、教員を十分に配置して細かなケアをしていただきたいと思います。
12. 高陵中学校区 男性 50代	高陵校下の小中学校の配置について、意見を申し上げます。 今後の高岡市の児童数減少や高岡市の財政状態を考えると、小学校の統廃合は喫緊の課題であり早急に進めるべきです。 平米校下の住民も概ねその点は理解していると思ひます。 以下、具体案を列挙します。 ・現在の定塚小の場所に平米小と定塚小を統合した新たな小学校を設置し、高陵中との小中一貫校とする。 - 統合後の校名、校歌、校旗等は新たなものにする。 - 新小学校内に、平米、定塚両小学校の歴史、沿革を展示する資料室を設ける。 ・小学校の統廃合を行ったことによる効果（経費節減額他）を開示する。 ・平米小の跡地活用についての検討を開始する。 - 平時の利用とは別に、災害時の避難場所としての機能を併せ持った施設にする等。 ・平米校下、定塚校下の自治会活動は、当面現状を維持する。 以上、よろしくお願ひ致します。
13. 高岡西部中学校区 女性 40代	児童数も減少し、統合は仕方ないと感じる一方で、正直、今の地域に引っ越しを決めたのは川原小学校が小規模だけれど良い学校だということを知ったからです。実施、上の子が通っていますが、上級生がとても親切で下級生の世話をしてくれる、その良い伝統がずっと続いていて、自分が上級生になった今は、それを実行しようとしているようです。小規模校だからこそその団結力や、「自分がやらないといけないう」という気持ちがそれぞれに育っているようです。先生方も、とてもよく指導してくださっていると感じます。 統合し、人数も増え、ましてや中学生も居るという状況は、まだ想像できませんが、それぞれの学校の良いところを是非残していただきたいと思います。特にまだ幼い1年生に十分な配慮をお願いしたいです。 下の子も4月から川原小に入学しますが、残り少ない期間、ほぼ最後の在庫生として、伝統を引き継ぎ、楽しく学校生活を送れたら良いなと思ひています。 それから気になるのは、その後の学校の建物・・・地域のコミュニティセンターなど地域住民のために使用できるものにしていただきたいと思います。（グラウンドもできれば残していただきたいと思います）
14. 国吉中学校区 女性 60代	高岡市の財政状況が厳しいとありますが、教育ありきですから、何をおいても最優先に、教育の質の向上に取り組むべきと思ひます。卒業をひかえている保護者の多くの人、小人数の小学校では、固定化したメンバーでより良い刺激があるとは言えないと思ひています。 小学校、中学校のバスを使用して、より広く体験を深めるようなことも展開していき、10年後と言わずに、早くすすめるべきだと思ひます。 この中で国吉だけが少人数である事から、①西部中学校と合同という事は考えられないかと常に思ひていた。②交通機関は、この時代、バスを考えればどうか。③少人数学級より小中一貫校により適応力の刺激がふえるのではないかと。
15. 高陵中学校区 女性 40代	・広い会場での説明会を希望。 - 各学校に授業参観の日に来て頂き、保護者向けに説明して頂く等、説明会の機会を増やしてほしい。 ・統廃合した場合、育成クラブ(学童)はどうなるか心配。 ・地震対策、防災はどうなるのか。

16. 高岡西部 中学校区 女性 50 代	学校再編に伴う対応として、通学路の安全確保を宜しくお願いいたします。 (通学バスの運行についても検討していただきたいと思っています。) ※横田校区、五位中学校区など※
17. 高陵中 学校区 男性 40 代	小学校の統合・再編や小中一貫校に対し賛成です。 小学校の統合されていく中で、「この様になってほしい」といった希望はたくさんあります。しかしながら、今回の平米公民館に参加させていただいた後の私の感想の中で、「統合されるのが、まだまだ先の話で 1 年生の娘には関係ないかな」と思ってしまった事が残念でした。高岡市教育将来構 想検討会議での「高岡市の未来を担う子ども達」の中に、今、小学校に通う 1 年生の娘も入れるようなスピード感を今は 1 番希望いたします。
18. 戸出中 学校区 男性 70 代	1. ピーク時に比べ児童数が激減している現実と教育環境の充実が求められることから今回説明のあった骨子案の基本的な方向について、前向き賛成 です。スピード感を持って進めて頂きたいというのが全体的感想です。 2. 学校再編は、教育環境の大きな変更であり特に統合は市民生活に大きな影響を与えることが予想されます。出来る限り早く再編・統合の具体像や スケジュール、学校跡地の活用、通学方法など保護者を含めた市民の広範な合意形成が必要であると考えます。 ・住民の意向を尊重すること・統合場所など行政からの押し付けだけでは住民の反発が予想される・当該地区の自治振興会を活用し協議する。 3. 先日行われた戸出地区説明会の出席者が少なく、非常に残念な思いです。今回の骨子案では戸出中学校区の再編・統合は該当外となりましたが戸 出地区も他地区同様、児童減少問題は深刻であります。今後、戸出中学校区における学校規模の確保や小中一貫教育の推進など、どの様に進めるの か。この機会に住民を対象にした協議会を設置し、勉強会・協議を進めてはどうか(現段階では、勉強会を兼ねた自由討論会で良いと思う)
19. 志貴野中 学校区 女性 50 代	今後、高岡市の小中学校の児童、生徒数が大幅に減少することを資料や説明から知り驚きました。それによる小学校の統合は仕方のないことかもし れませんが、地域に小学校が無くなるのは残念です。ただクーラーを付けたり、I C T を授業に導入したりするなど、子供たちの学習環境をよりよ いものにしていく取組は大変ありがたいです。これからの時代の流れに乗り遅れないようにこれからも計画を立てて実行していただければと思 います。 小中一貫教育については成果が見られているようなのでよい取組を続けていってほしいと思います。
20. 五位中 学校区 女性 40 代	現在の児童数と 6 年後の見込み数のデータに基づいて話をされていたので分かりやすかった。H36 年度に児童数が大きく増加する地区がいくつかあ り、意外に感じたが全体的に大きく減少することが分かった。 児童数の減少にとどまらず、高岡市には対策が必要な課題が多数あることを実感した。質疑応答の内容から私たち市民一人一人が関心をもって市の 動きを見ることが大切だと思った。
21. 芳野中 学校区 男性 40 代	・高岡市として人口を増やす取り組みを示して欲しかった ・少人数縦割り教育の良さも教えて欲しい ・宅地開発と学校(教育)を連携して頂けたらと思う ・小中一貫教委の例をもっと多く具体的に示して欲しかった ・統廃合では地域のつながりも変化すると思います。どちらかと言うと子供たちより大人の方がついていけない可能性もあると思うので、先に統廃 合する地域の交流を先にすすめていった方が良いのではないかと。
22. 芳野中 学校区 男性 70 代	小学校生活から中学校生活への円滑な接続、学校規模の適正化に取り組むとしていますが、国の学校規模の標準になにがなんでも行うのか？ 五位中学校区での 2 段階統廃合は望ましくない。高岡市でははじめての取り組みなので当初計画どおり行うべきである。 国吉中学校区は西部中学と統合すべきである
23. 戸出中 学校区 男性 40 代	市内小中学校児童生徒数がピーク時より激減している現状、また今後も減少していくという見通しについて、客観的に理解することができた。 戸出東部小校区においては過去の農地・宅地政策を見直し、戦略的に子育て世帯を誘致していかなければならないと感じた。 小中一貫教育の推進については、市の財政難が明るみとなった今、施設統合・人員削減によるコストカットが主たる目的だととられかねない。そ の疑念が払拭できれば、本提案の必要性、説得力は増すだろう。 教育長自らが市内各中学校区を足跡され、大変熱意は伝わった。ダイナミックでスピーディーな改革を期待する。
24. 戸出中 学校区 男性 50 代	学校教育については、現に学校に通っている子や孫をもつ保護者や地域住民であっても、我が子、我が孫の現在の教育環境が重要であり、10 年先 のことまで考える人は少ない。 学校の再編統合に合意した地域では、住民の学校教育に対する関心が高まり、今後どのような教育が進められていくのか、不安よりも期待と参画 意欲をもつ人が増えていると思う。 この機会を逃さないように、小中一貫教育について、そのメリットは何か、また、どのような学習活動を行うのか等、各学校が、より具体的な手立 てや計画を示す必要がある。 まず、地域小・中学校教職員の共通理解と方向性を揃える取組（合同研修、相互乗り入れ授業交流等）を進めたい。これからは PTA を始めとする 地域諸団体との意見交換、連携・協働がますます重要になると考えている。
25. 芳野中 学校区 女性 50 代	米谷教育長さんのパワーポイントを用いた説明や質疑応答はとても丁寧で分かりやすく、数字にも説得力があったと思いました。 小中一貫教育は、子供達の学びの機会を増やし、質を高めると同時に、教員にとっても発達段階が異なる子供達への教育の在り方や成長過程を見 届ける上でも有効だと考えています。 また、主体的・対話的で深い学びの視点からも、様々な人の考えを知る経験をするためにも、ある程度の人数での学習が必要だと思います。 一般の方や、年輩の方、実際に小・中学校に通う子供をおもちの保護者の方は、再編統合や小中一貫教育のメリットをもっとたくさん具体的に知 ることで、今後より理解が深まるのではないかと感じました。 お疲れ様でした。
26. 伏木中 学校区 女性 20 代	太田に住んでいる私からすると、太田小学校がなくなるのはとても残念だと感じる。伏木小学校に合併だという話が出ていたそうだが、小中一貫 校になるという話を聞き、それなら、まだ納得できるなと思った。人数がとても少ないので仕方ないと思う。 ただ、今の伏木中学校の中に入るとしたら、部屋数が足りるのか、狭い中で小中一貫校にして、子ども達が充実できるのか、心配。冬だけでなく、 送り迎えをする子が増えると考え、大渋滞になるのではないかと考える。スクールバスがでるのか、人数も今よりだいぶ増えるので、心配。
27. 伏木中 学校区 女性 30 代	小学校の統合・小中一貫教育に関しては児童の数も減ってきているので自然な流れだと思います。小学校から中学校までみんな顔見知りになるの は、子どもにとっても良いことだと思います。 ただ場所に関して、現在の伏木中学校を小学校に、小学校を中学校へと入れかえる案があるらしいですが、通学距離が大幅に伸びるお子さんもお られるので、安全の面からもスクールバスは必要です。徒歩圏内でも大通りを渡るとなると危険も増えるので交通安全の強化もお願いします。 また年齢に合った施設になるよう改良したり、学童保育の場所も必要となってくると思います。統合によって子どもや保護者が住みづらさを少し でも感じなくなるよう配慮していただけると嬉しいです。
28. 伏木中 学校区 女性 30 代	・登下校の時に小学 1 年生を十間道路を歩かせるのは心配 ・学童はどうするのか明確にしてほしい。 ・行事はどうするのか？学校祭、運動会、参観日 etc. ←車の場所はどうか、など。 ・中学生と小学生を一緒にする事が心配。 もちろん良い影響もあるが、それだけではない。いじめや、素行の良くない中学生、を見る小学生に対する影響はどう考えているのか。 ・7～15 才の子供たちが一緒に学校にいる事は社交性、協調性、思いやり等が得られると思う。 ・元々中学校という一つの建物に小学校を入れるというには校舎、グラウンド、体育館など中身をどうするのかは心配。
29. 芳野中 学校区 女性 40 代	小学校統合については、なるべく規模が統一されるのが良いと思う。しかし、大規模な学校では、十分に職員は足りているのだろうか。昔と違い、 パソコンやスマホ等での、いじめやトラブルは増えている。そこで、同じ条件でどの子も安心して学校に通えるようになってほしい。 正直、まだ、子ども達の様子を見ても昔と同じように感じる。日本人の考え方の良いところは多いが、まだまだ根強く残りニュースなどでとりた だされるような悪い考え方、古い考え方を取り払い、もっと自由に伸び伸びとした教育環境を望みます。教室があまっているのなら、少人数でのク ラス編成を望みます。それは、高学年であっても同様です。(まだまだ「教師」1 人 1 人の大きい負担を軽くする意味でも)
30. 福岡中 学校区 女性 60 代	これまでの検討内容のとりまとめを資料とともに読ませて頂き、高岡市における小中学校の配置の基本的な方向について理解することができました。 国吉中学校区においては、校区内の小学校に勤務した者として、これまで蓄積されている実績からも、義務教育学校に改編した小中一貫教を推進す ることは望ましいと考えます。また、地域の実情も含めて義務教育学校のメリットを最大限に生かした学校運営がなされることと確信します。 しかしながら義務教育学校のデメリットとして出されている課題 ・人間関係の固定化から起こる問題 ・小学生が中学生から受ける生徒指導上の影響 ・行事活動等で小学生（5,6 年生）のリーダーシップを育てる機会を逸する等当校区でも懸念されます。十分配慮頂きたいと思います。 また、教職員の負担がこれまで以上に増えることのないようにしたいものです。 互いを思いやる心をもって学校生活を送り、充実した学習環境のもと大いに勉学に励む子どもたち、一人一人が輝く学校を期待します。

31. 芳野中 学区 男性 60 代	【学校の再編統合について】 ・小中学校の学級数と児童生徒数は一部に増加する学校も見られますが、ほとんどは減少傾向にあります。このままでは、均一な教育の質を維持できるか、あるいは小規模校においては児童生徒の社会性を十分に育むことができるか疑問です。 ・このため、学校の適正規模を維持することが必要であり、その再編統合は避けて通れない課題であると考えます。地域の状況を見極めて必要な学校から順次、進めていただきたいと思います。 ・統合校の整備に当たっては、小中一貫教育の実現など教育の質をさらに高める取組みのほか、通学距離が大幅に増加する児童生徒にはスクールバスの配置など、教育環境の充実にも配慮いただき、統合してよかったと地域住民が感じられるような内容で進めていただきたいと思います。 【廃校の跡地について】 ・学校の再編統合は、厳しさを増す財政状況の改善にも資するものであると考えます。このことから、廃校跡地の利活用については更なる財政負担を招かないような方法で検討することが肝要であると思います。 ・廃校となる地域にとっては、学校が無くなることは大きな問題であると思いますので、地域住民の理解と協力を得ながら、効率的かつ健全な行財政運営を維持できるような跡地の利活用を検討すべきと考えます。
32. 高陵中 学区 女性 40 代	日頃お世話になりありがとうございます。 高岡市子ども・子育て会議では丁寧に意見を導いて下さり、ありがとうございます。その後、お仕事をフルタイムからパートタイムに替え、夫を支える事が少しは出来る様になったのかな？と思っております。 先日、定塚小学校バザー委員副会長として、委員会に出席させて頂きました。その時に、校長より声を上げる様背中を押して頂きましたので、一つ発言をさせて頂きました所でございます。 高岡市は新幹線が停まり、道路も日々計画が進んでいるのを感じております。このあたりが震源地の地震も数日前にございました。マンションも増えています。出来る事から実行して頂きまして、強い街づくりを是非と願っております。兵庫県から嫁いで 16 年が経ちました。子供には無力感を植え付けたくないのです。人はそんなに弱い生き物ではない。新しい風が吹く高岡に。
33. 伏木中 学区 男性 70 代	（中期目標）少子化対策として、10 年後を見据えて、小学校の統廃合のみならず、中学校との小中一貫校にされることは、11 月 28 日付の骨子案、P3 の他県の先進校の成果にもあるように、大いに歓迎されることです。そして実施する以上は、小中一貫校の良さを取り入れるとともに、P3 に指摘されている課題をクリアされた小中一貫校であることを期待します。 なお、義務教育学校として、施設一体型か併設型（施設一体型、施設隣接型、施設分離型）のどちらかに市内を統一されるのか、お聞きしたいところです。 地域住民や保護者の中には、小学校が統廃合される場合、ある小学校に統廃合されることに抵抗感を持っておられたようですが、小学校が中学校に併設されることで安堵しておられるようで、反対運動も起きなかったところを見ると、小中一貫校の提案はよかったのではないのでしょうか。 また別添資料として、小学校の児童数の推移をグラフとして照会されたことは、少子化が一目瞭然で分かり、地域住民や保護者には説得力のある資料でした。 骨子案の P4 に「本市においても、総合計画で掲げる『子育てや教育の環境が充実し、選ばれるまち』であり続けるよう、・・・・子供たちの連続した成長を切れ目なく支援する小中一貫教育を効果的に推進することが望まれる。」とありますので、僭越ながら下記のことを提案させていただきます。 （短期目標） 「子供たちの連続した成長を切れ目なく支援する」という点で、今回、幼稚園教育要領、保育所指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から小学校指導要領、中学校指導要領、高等学校指導要領まで改訂されることになりました。 従いまして、「義務教育 9 年間で連続した教育課程として捉える」と同時に、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園では、「小学校における教育との円滑な接続に配慮しなければならない」と規定されています。 現在、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園では、年長児が小学校 1 年生との交流会を実施したり、保育教諭は小学校と入学する児童に関する情報交換をしたり、県教育委員会（県総合教育センター）主催の検収かい参加を実施していますが、先進県（福井県）では、幼児教育支援センターを設置し、各市町村に幼児教育アドバイザー、各園に園内リーダーを委嘱し、両者の養成講座や保幼少接続口座（カリキュラムの作成含む）を行い、現場巡回訪問を実施しています。 富山県教育委員会では前述の研修会や円滑な接続を勧めるパンフレットの作成をしていますが、福井県のような取り組みを行っていません。本市が「高岡ならではの教育」を標榜するなら、ぜひ福井県に勝るとも劣らない、幼児教育支援センターの設置、アドバイザー・園内リーダーの委嘱・養成をしていただけたら、「幼児期から義務教育まで連続した成長を切れ目なく支援する」ことになると思います。 なお、石川県も国から認められて準備を進めているとの情報もあります。 ぜひ、ご検討ください。 （長期目標） 本市に小中一貫教育が定着してからですが、義務教育ではありませんが、「高岡市ならではの教育」を考えるなら、県立伏木高等学校を中高一貫校の一つである「中等教育学校にする」ことを県に提案してみてもはどうでしょうか。 現在、伏木高等学校は国際交流科として活躍していますが、第 2 外国語の選択は 2 年生からとなっています。僅か 2 年間で外国語をマスターすることは至難の業です。そこで、中等教育学校という中間一貫校にして、県内から生徒を募集し、中学段階から外国語を学ぶことは、外国語をマスターするに非常に効果的です。大学進学や、国際関連企業への就職も有利になるかと思います。本市からそのような人材を輩出することも「高岡ならではの教育」でないかと思います。 かつて、テ・ジョヨンという人が高句麗の血を引く「渤海」という国を建国しましたが、その渤海との交流にあたり、伏木に渤海語をマスターする語学学校があったと伝えられています。その歴史のある伏木に国際交流の中高一貫校；中等教育学校があることは、まさに「高岡ならではの教育」ではないのでしょうか。 また、県内から生徒を募集するにあたり、遠方の生徒のための宿舎を建てることにより、若い人の人口増や、給食施設の新設により、地元の食材関係者や宿舎維持のための関係業者が潤うものと思われ、地元の活性化につながるものと思われます。 ぜひご一考くだされば幸いです。
34. 高陵中 学区 男性 40 代	教育委員会より Web 上で公表されている資料はすべて目を通しました。 平成 20 年の高岡市立学校規模・適正配置検討委員会以来、現在の状況が予測されつつも、当時の各協議会の意見の大勢が短期的には現状維持という市民の意見に、行政も追従した形となったのは残念です。一方で統合を希望し新校舎の建設を表明された地区はその方向に進んでいる。結果として言われたとおりの展開となっており、行政当局としての意思が感じられませんでした。 高岡市教育将来構想検討会議の名称を聞いたときは、統廃合問題を適正規模と言い換え、さらに曖昧な題目をつけたものだと思いますが、これに先立って教育長が各中学校を回られ、直接関係者と対話し、意見を求めたことを評価したいと思います。 統廃合問題は教育問題のオプションであると、より高次元視点から問題に目を向けるのは教育者として真なることですが、教育財産の管理者としては財政的な観点でも同じように考えていただきたいと思います。 高岡市財政健全化アドバイザー会議からは「小中学校の再編の遅れや社会教育施設の増加等により公共施設を数多く保有し、管理費用が増加している。」「小中学校等の再編統合にあたっては、教育の充実等に重きを置き、一方で限られた財源の有効活用を図る観点にも留意する必要があることから、既存施設の活用を基本としつつ、総合的な観点から再編統合を進めるよう助言する。」とあります。 ですから、五位中地区の新校舎建築には反対です。
35. 戸出中 学区 男性 40 代	子供たちの学力に関しては一貫教育・小中連携協力で向上が表れると思います。 英語やプログラム教育など早期から長期間の計画で学習ができると思います。 子供たちの環境（感情）から考えれば現在の当区域においては 2 つの小学校が 1 つの中学校に行くわけですが中学校では競争心や新しい友達が出来等環境の変化が実社会では大きく役に立つのではないかと思います。 まずは、高校進学時にその経験で環境の変化に対応できていると思います。 昔ある先生が生徒に卒業の言葉の中で「中学校に行ったらみんなまた同じスタートにたちます。小学校で嫌だったこと、友達の小学校での悪口をすべて忘れて心をきれいにスタートしてほしい」 登校拒否やいじめの問題で新たなスタートを始めるきっかけになることもあります。
36. 戸出中 学区 男性 40 代	高岡市の児童数減少に伴い小学校の再編成は必要だと感じました。また、小中連携教育や一貫教育のメリットもあらためて知ることができました。 戸出地区は再編対象外であるため、再編対象の地域と比べ、小中連携教育が出遅れるのではないかと心配しておりましたが、戸出中学校区では、これまでも小学校と中学校の連携がうまくいくように先生方の間で情報交換や交流をされていることを伺いました。各小中学校の家庭や地域も連携して学校に協力していきたいと思います。

37. 戸 出 中 学 校 区 男性 50 代	小学校の児童数減少はある程度頭の中で予想していたとはいえ、児童数の推移をグラフで視覚的に見るとかなりの衝撃であった。子どもたちの教育充実の観点からも学校の一定規模を確保するため、小学校再編統合の必要性を強く感じた。 小学校の再編統合に伴い、実施される小中一貫教育校の開設と小中一貫教育の推進は、子どもたちの学力や自己肯定感の向上、中１ギャップの解消等の効果が見込まれる。プログラミングや英語教育といった内容が盛り込まれた新学習指導要領実施と同時に小中一貫教育校が開設されることが理想ではある。ただ、ハード面の環境整備以外にも教育課程等での考慮事項も多く、実施までの事前準備に関しては、関係機関のご苦勞も察せられる。 市教育将来構想市民懇談会での説明や新聞等で小中一貫教育のメリットを知った戸出地区の保護者や地域住民の中には、再編対象外校区である戸出中学校区が現在の教育改革の流れに取り残されるのではないかと懸念をもたれる方もいた。が、決して再編対象外の校区であることで子どもたちの不利益となることはないと伝えたい。再編対象外の本中学校区でも日常的に小中学校の教員が互いに情報交換・交流を行い、小中学校間の段差を解消して学力向上や人間関係づくりに尽力する旨を伝えるとともに今後の小中連携教育について早急に校区の小中学校間で話し合い、市教育委員会の協力も得ながら具体的な取り組みについて示すことができればと考えている。
38. 戸 出 中 学 校 区 男性 40 代	高岡市の児童数、生徒数の減少に伴い、充実した教育活動を展開するためには、小学校の統合及び小・中学校の連携・統合は避けられない。戸出地区は当面、小学校の統合は予定されていないが、将来を見据え、両小学校及び小・中学校での連携・情報交換等を推進していくことは必須である。本校の教職員は（当該地域ではないため）まだ切実感が乏しいように感じる。新学習指導要領の実施を契機に、小中学校の教員が出前事業や乗り入れ授業を通して、互いの学習活動を理解すること、児童生徒の情報を共有し９年間を見据えた教育活動を展開することなどが必要になってくると感じる。戸出地区も高岡市の波に乗り遅れないよう、準備に取り組んでいきたい。
39. 高 陵 中 学 校 区 男性 50 代	現在、高岡高校と定塚小学校に２人の子供を通わせております。年末に平米公民館で行われた定塚、平米小学校の合併の説明会および今月定塚小学校で開催されました PTA 役員会における同提案に対する校長先生のご説明に対する意見を送付させていただきます。 まず、平米と定塚の両小学校の統合についてですが次の２つの点でこのことは喫緊の課題であり早急に進められるべきと考えます。まず１つ目は市財政の逼迫する中、少子化により学校運営は非効率化の方向に向かう一方です。行政コスト削減のために規模の適正化は速やかに進められるべきと考えます。２つ目は平米小学校の現状です。中心部の過疎化によりクラス編成さえもかなわない現状を鑑みればやはり速やかに適正な規模の中で子供たちが教育を受けられるようにすることは我々大人の務めではないでしょうか。校区だの伝統だの歴史だのといった話はすべて大人の側の話でありその犠牲になっているのが子供たちということでは本末転倒も甚だしく、国そして地域の宝物であるこどもたちを立派に育てるという義務教育本来の目的に立ち返るならばいかなる大人の都合も虚しく統合は速やかに行われるべきと考えます。 一方、あたらしい学校で展開されるという小中一貫教育について意見させていただきます。これまでも富山大学付属小学校、中学校、片山学園への入学を選ぶ呉西の子供達数は少なくなかったかと思いますが、来年度からはさらに小杉に小学校卒業までに英検２級取得を目指すというわかりやすいプロパガンダのもと片山小学校が開講されると聞きます。校区からもそちらに進学する児童がいるとも聞きました。学歴や年功序列による社会システムは崩壊しつつあるとしても、やはり親たちは自分の DNA の存続をかけてより高いレベルの教育を目指そうとするのはある種の本能であり、そのことを否定する権利は誰にもありません。ではそういった環境の中でいま新しく作られる定塚小学校、平米小学校、高陵中学校を含む小中一貫校にそれらの学校に勝る魅力はあるのでしょうか。先日の小学校 PTA の役員会で伊藤 PTA 会長が校長先生にしみじみ質問されたことが的を射ていると思いました。「ここにできるあたらしい学校には何か特徴はないのですか？スポーツに力を入れるとか、勉強に力を入れるとか…。」校長先生は一瞬ためらわれた後、公立小学校の教師というお立場ではそう仰るしかないのですが「そういったものは日頃の取り組みと歴史の中で醸成されていくものだと思います」とのご返答でした。しかし多くの親にとって聞きたい答えはそんなものではないのではないのでしょうか。もちろん「英検２級をとる」などといった派手なプロパガンダは必要ないと思いますが、同じ校区内にある高岡高校との連携などは考えられないのでしょうか。その高岡高校も富山中部高校や片山学園に生徒が流出する中、学校のレベルの維持に苦慮していらっしゃるのではと拝察しますが、小中の統合と一緒に中高一貫クラスの併設や、高校での特別進学クラスの編成など高校そのもののレベルアップ、魅力アップを見据えた改革も行われるべきではないでしょうか。新しくできる小中校が魅力ある学校になり、地域の住民が誇りを持てる学校になることを願って止みません。 末筆ではございますが乱文のほどはご容赦ください。
40. 福 岡 中 学 校 区 男性 40 代	旧福岡町地区において、小中一貫教育については、関心は低いと思います。理由としては、合併前の２００３年（平成１５年）３月末に淵ヶ谷小学校が休校したことにより、旧福岡町地区においては１小学校１中学校のみの状況となっている。そのため、９年間変わらない同級生たちと学校生活を過ごすため、交友関係では悩むことが少ない地区だと思っています。 しかし、それ以外の先輩後輩関係の問題、英語などの勉強の負荷の増大など、中一ギャップと呼ばれる問題は、小中一貫教育では解決できそうだと思いますので、小中学校併設することができそうな地区は、今後進めていけばいいと思います。福岡小中学校においても、先生方の交流や生徒たちの交流もどんどん実行していけばいいのではないかと思います。 魚津市は、平成 26 年に「学校規模適正化推進計画」を策定し、平成 35 年度までに現在 12 ある小学校を４校に統合するそうです。高岡市では、１９７９年に二上小学校と森山小学校が、統合し万葉小学校となり、西谷谷小を国吉小と統合した２０１４年までの３５年間は一つも統合していないと聞いています。「今後１０年を見据えた」と記載してありますが、もう１０年以上前に旧高岡市の小学校の合併は進めていかなければならなかったのではないのでしょうか。 今後、子供たちの学校生活にしわ寄せがこないような教育方針を構築していただくことを願います。
41. 高 陵 中 学 校 区 男性 20 代	本案件について、取りまとめ資料にも記載がある通り、高岡市の厳しい財政状況下において、教育分野にとどまらず都市計画分野や歴史文化分野など、各分野横断的な視点で方向性や計画の妥当性を検討する必要があるのではないかと考えます。以下では、その一例として都市計画の視点での意見を挙げさせていただきました。 ◆計画上のまちの動き 高岡市ではまちなか区域を中心に世帯数の減少に伴った空き家・空き地の増加、商業機能の衰弱、小中学校の生徒数の減少など、都市課題が他のエリアよりも先行的に顕在化している状況にあると思われます。そこで、2017 年よりコンパクトシティを目指した立地適正化計画の作成を進めているように、今後都市機能と居住機能の誘導を重点的に図っていく必要がありますが、その具体的な誘導のイメージや実施事業などはまだ着手されていないのが現状であると考えられます。 ◆実際のまちの動き 若年世代の居住動向の観点からみると、これまでの郊外中心の造成宅地のみならず、親世代との近居や生まれ育った校区への回帰などを理由としたまちなかへの定住を希望する動きが増えつつあります。今後もこうしたまちなかへの居住ニーズは多様化し増加することが見込まれます。また、それに対応するように不動産市場においても複数の低未利用地を区画再編することで新たな宅地を創出し市場流通を図る取り組みも見られ始めています。 今回の小中学校の再編統合は、教育面でのイメージアップのみならず地域ブランド（校区イメージ）を再構築し、将来的な世帯動向や人口バランスを決定するための大きな契機になると考えられます。そのため、上記の２つの動きを十分に考慮すると、今後重点的な政策投資が必要であるまちなかを核とした戦略的な再編統合計画の作成が必要であると考えられます。 具体的に、 ◎まちなかに立地する小中学校区（高岡西部中学校区／高陵中学校区）の再編統合をリーディングプロジェクトとして位置づけて先導的に事業推進する ◎リーディングプロジェクトにおいては、「教育の質向上」を中心に歴史文化の醸成、自治会力の強化、空き家・空き地の創造的活用など、多様なテーマを包含した校区単位での「地域再編構想」を住民と連携して作成し、魅力ある地域づくりを目指す。 ◎リーディングプロジェクトに基づき他の校区への活動展開を進めていく。

42. 高陵中学校区 男性 40 代	資料「これまでの検討内容の取りまとめ」を拝見させて頂きました。現在の課題と今後の展望について私なりの意見を述べさせていただきます。 【小さな視点】 まず私事ですが、現在 2 人の子供が定塚小学校（4 年生の娘、1 年生の息子）に通っております。検討資料にも記載されております高陵中学校区における再編統合に正に向き合う立場にいます。 私は高岡市内の小中学校の再編統合については賛成です。むしろ目標と方向性が定まっているのであれば急速に進めるべきであると考えています。特に高陵中学校区においては、昔から「定塚小学校→高陵中学校→高岡高校」というのが、この富山県呉西地区における一つの進学モデルケースの共通認識として広く浸透しています。私もそうですが、子供を定塚小学校に通わせることに憧れを持って居住を移す事例もあります。したがって、今回の高陵中学校区における小中一貫教育推進案が、その延長線上に高岡高校への進学率向上に結びつくようなモデルとして更に教育環境の整備と教育カリキュラムの完成度が高くなることを期待しています。 【大きな視点】 私は昭和 54 年度に万葉小学校に入学、60 年度に志貴野中学校に入学した団塊ジュニア世代です。当時の万葉小学校の 1 学年は 123 人；3 学級、志貴野中学校の 1 学年は 512 人；12 学級でした。今ではその半分ほどの規模です。また、高岡市内の全体規模としては学年の生徒数、学級数ともに当時の 40%ほどであると受けとめています。ところが、小学校数の推移を見ると、現在と学校数はほとんど変わっていません。ということは、稼働している教室も半分、先生の数も半分、サッカーや野球等のスポーツ少年団の団員も半分程度ということになります。私の小中学校時代が代代的に「大規模校」が多過ぎたということもありますが、現在の学校の規模と配置の現状を見ると、それでも半数以上の小中学校が「小規模校」に該当していることから、小中学校の再編統合はやはり急務だと考えます。 今後 10 年を見据えた高岡市の小中学校の再配置案によると、五位中学校区の再編統合を皮切りに、国吉中学校区、高岡西部中学校区、高陵中学校区、伏木中学校区、中田中学校区の 6 つの校区が対象となっておりますが、福岡中学校区、戸出中学校区、牧野中学校区の 3 校区も同様に小中一貫教育を推進する対象に加えるべきではないかと思います。また、南星中学校区、志貴野中学校区、芳野中学校区については、中学校としては再編統合の学校規模ではないのかもしれませんが、博労小学校、万葉小学校、二塚小学校の児童生徒数分布と推移を見ると、「小規模校」のまま残ることになり、同じ中学校区間における他の 2 校との規模バランスがあまり良くない気がします。 【今後期待していること】 富山市では「芝園小学校→芝園中学校→富山中部高校」という同様の進学モデルケースがあり、実際に近年 4 つの小学校の統合にあわせて小中学校一体型校舎である芝園小中学校として再編統合が進みました。また、富山市では従来より「富山大学附属小学校→附属中学校」というモデルもあり、その後の進学については富山地区の生徒は富山中部高校へ、高岡地区の生徒は高岡高校へというのがかつての主な高校進学パターンでした。ところが近年では、高岡地区の生徒がそのまま富山中部高校へ進学するという傾向が多く見受けられます。また、富山市の片山学園中学校・高等学校に続き、来年度には射水市に片山学園初等科が開校します。進学先の選択肢が増えることは悪いことではないと思いますが、高岡地区の本来の地元校から子供たちがより良き教育環境を求めて高岡市の外へ流出してしまうことにはやはり疑問を感じます。 教育環境としては、子供を学校に迎えに行く場合や何かあったときの緊急対応、同じ校下の友人関係、地元地域とのコミュニケーションを考慮すると、やはり地元の小学校中学校に通って、地元の高校を受験するというのが理想だと思います。わざわざこの高岡地区から富山市地区に電車やバスに乗って通わせる必要はありません。そのためにも、富山大学付属小中学校や芝園小中学校に負けない魅力のある小中一貫教育体制と教育カリキュラムを構築し、逆に高岡に人を呼び込めるような勢いで小中一貫校の再配置をスピード感を持って進めたいと思います。 また、高岡市内の小中一貫校は、各々の学校がそれぞれに特色ある学校であってほしいと思います。例えばこの学校では英語教育に力を入れる、この学校ではスポーツに力を入れる、進学に力を入れるといったように、各学校ごとにビジョンと方向性がはっきりと示されていて、もっと言えば、我々保護者・児童がそれに合わせて自由に学校を選択できるようにすれば、更に魅力のある再編統合になると思っています。 学校再編計画の説明会については、広く地域住民の方々向けに開催するだけではなく、現在子供を小中学校に通わせている保護者、あるいは今後入学を予定している子供の保護者というこれからの当事者向けにも個別に開催して頂きたいと思います。 再編統合の時期につきましても、今後 10 年を見据えたスパンとかではなく、せめて自分の子供が学校に在籍している間に実施して頂きたいと思います。私の場合ですと、小学校 4 年と 1 年生の子供がいますから、具体的には 3～5 年くらいで実現することを希望します。そうでないと、説明会に参加したり、今後いろんな形で意見交換をしたりする機会があっても、「自分たちには関係がないから」といって熱が冷めてしまうかもしれません。 少子化の進行に伴い、今の教育環境や教育制度も、時代の変化に合わせて改革していかざるを得ない状況にあると思います。子供たちの将来のために必要なこと、やるべきことはみんな頭では理解しているはずだと私は思っています。だから、「できる、できない」を議論するよりも、「やるのか、やらないのか」の決断することの方が大事だと思いますし、「いつまでにやるのか」というある程度の期限を決めて、スピード感を持って実施してほしいとも思います。将来のビジョンが明確になり、目指すべき方向が示されれば我々保護者は安心するし、地域住民の理解も必ず得られるはずです。
43. 高岡西部中学校区 男性 70 代	1 学校統廃合には子ども、保護者、地域住民の合意が欠かせないことから、結論を急がず十分な話し合いが必要と考えます。 2 市民憲章の立場より「共生と活力」ふれあいのきずなを深め生き生きとしたまちをつくります。そのためにも、現代社会に挑戦と新たな時代（将来構想）未来の高岡市（めざすまちの姿）教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている。 具体的なことは、各校区で話し合うことだと思います。
44. 伏木中学校区 女性 60 代	少子化の現状の中で 1 クラスの生徒数の大幅の減少およびクラス数の減少により狭い環境の中での小学校生活は子ども達の視野が狭くなるのではと懸念します。 多くの子ども達の中から様々な関係性を構築し、心も身体もたくましくそして個性豊かに成長をしていけばよいと陰ながら応援したいと思いますので 3 校統合は賛成いたします。昨今中学生になった際に学習や環境・人間関係等の大きな変化により不登校になる生徒が多いと聞いたことがあります。そのため小中一貫校になった場合異年齢集団となるため設備的な対応は大丈夫なのか、グラウンドや体育館の使用はどのようになるのかというハード面での課題は多く抱えると思いますが、その反面上の学年の生徒が下の子を見るという思いやりの気持ちや配慮の心が芽生えるのではと想像いたします。伏木の場合は他校にない伝統行事も多くありますが、是非万葉の里伏木にある学校として、統合をしても継続していただきたいと強く望みます。 これからの世の中の変化そして全世界の温暖化に対し、子どもたちが少しでも良い環境の中で個性豊かに成長ができるようにご尽力を頂きたいと思ひます。
45. 伏木中学校区 男性 40 代	伏木地区の小学校再編統合の問題は、長きに渡って住民の大きな関心事でした。 児童減少が続く現状では、一定の学校規模の確保を目指すための見直しには賛成である。 また、小中一貫教育への取組みは、今まで以上の教育の質を約束するものであってほしいと考えます。 これらの実施にあたっては、丁寧かつ詳細な議論と説明を重ねるとともに、早期の実現を期待します。
46. 伏木中学校区 男性 60 代	1. 小中学校統合については、人口動態からやむを得ない。 2. 施設形態は、一体型であるべき。 i) 学年の区切は、4－3－2、もしくは 2－4－3 なども検討すべきと考える。 ii) 通学の負担を低中学年に負わせる事は、ストレスを考えると避けたいが、一気に統合ではなく、4－3－2 の 4 年、2－4－3 の 2 年を従来校にて行うことも検討すべきか。この場合は、従来校を分校としての運用とする。 3. 統合後の従来校のハード面の運用について 現在の防災拠点としての校舎の運用をきっちり検討し、結論を出しておくべき。 4. なによりも、当事者の親となる 20 代、30 代のパブコメをいかに収集するか早急に検討いただきたい。
47. 伏木中学校区 男性 60 代	再編統合に関し、今の子ども達の事を考えると、統合された方が良いのではと思っていますが、次の事はどの様に考えておられるのか気になっています。 1. 通学に関して ・統合場所によっては、1 年生の子が歩いては行けない子どももでてくると考えられる為、スクールバスの利用があるのかどうか。 ・近くの子どもは集団登校なのか。 2. 職員の人数 ・統合により職員の人数が減ると思われませんが、近年、多様な発達障害のお子さんがおられますので、お子さんはもちろんですが、担任になられた方の援助が変わらず、いや、それ以上にできる状態かどうかが心配です。 ※統合された場合、子ども達にどんな良い点があるのか、もっと聞きたいです。
48. 伏木中学校区 女性 70 代	伏木中学校において太田小学校、古府小学校、伏木小学校が再編統合し、小中一貫教育することは望ましいが、校区が広がり、児童の通学距離が長くなる事が懸念される。バス通学について、地元住民の理解に適切な対応していただきたい。 余談ですが、大伴家持生誕 1300 年も終了。小学校の教育現場において、歴史上の偉人の教育にもう少し力を灌いでほしいと思います。

49. 伏木中学校区 女性 30 代	高岡市伏木に生まれ育ち、この町で仕事を持ち、現在小 6（春から中 1）の娘をもつ者です。高岡市教育の将来について 2 つの面から思う事があります。 まず 1 つ目は、この町の人々が、伏木という町、そして歴史ある伏木小学校を大切に思い、誇りに思う力が強すぎるという事（良くも悪くも）歴史があるからといって、この先ずっとそれを続けるということは、とても難しい事であると思います。けれども、能三さんが作って下さった学校を守りたいという意識は、伏木に生まれ育ち、伏木小学校という所でその様な教育をうけ、その様に刷り込まれ、育っていく様な感覚を自分自身、そして娘の教育を見ているにも生まれている様な気がします。そんな感覚は大切であり、無くなるのは悲しいと思う気持ちもわかりますが、それを続ける為に私たちが子を産まないからだとなるのは・・・どうだろうなって感じです。 もう一つは、子どもの周りを見ても、現在、伏木 1 クラス、古府 1 クラス、太田 7 名と、今年中学に上がっても 2 クラスにしかないという現状では、学校が統合されても仕方ないよなあ、でも、学校が遠くなるのも可哀想よなあ・・・位の思いです。それも、自分達、産む世代の周りを見ても、同居が嫌だから伏木には住めないとか、家を建てるにも土地がないとか（空き家が多いが貸し渋りや放置もあるし・・・）学校うんぬん以前に、抱える問題は多いのでしょうね。 まとめませんが、仕方のない事なんだろうなあ・・・とってしまいます。色々と。
50. 伏木中学校区 女性 60 代	再編統合には賛成です。 私は伏木中学校のすぐ近くに居を構えています。 私の印象では、中学校の運動会の頃には、スピーカーから先生の大きな声が響いて、運動会が近いのがすぐわかったくらいですが今は・・・当日見学に行くと、グラウンドにちょこっとしか生徒がいない・・・さみしいですね。 よって私も第 3 章の「集団の中で・・・切磋琢磨することで・・・一定の学校規模の確保が重要」に共感しています。 いじめの問題にしても児童数が多いことで、いじめる子もいれば、かばう子も出てくるのではと思います。 大人があまりかかわらず、子供達同士でいろんな問題を解決してくれれば・・・多くの人と接して厳しい環境にも対応できる人に成長してほしいです。 理想としては、高岡市の人口が増えて（企業誘致などで）また学校分割できればよいのですが。
51. 伏木中学校区 女性 70 代	子供達が少なくなった事はたしかです。 今かりにこの問題において 5 年、10 年先の話で終わってほしくない。 高陵、中田、伏木、高岡市の学校において、それぞれの考え方があり、まとめる事の難しさもわかります。 伏木小、古府、太田お伏木中学校に統合し、小、中、高（？）を一貫して欲しいです。 ただし、通学路（スクールバス）の運行はきちんとしてほしい。 義務教育 その時が一番大切な時間だと思います。
52. 伏木中学校区 男性 40 代	・地元である伏木中学校区の再編統合については、太田地区のスクールバスの問題に一番関心があります。小学校 1 ～ 6 年のみスクールバス乗車になるのか？中学生も乗車になるのか？等、具体案を知りたい。 ・自分自身の卒業した小学校が統合による影響で消えるのはさみしいのが本音ですが、子供の事を考えると、少人数での学校運営には、デメリットが多く、統合も致し方ないと考えます。子供の競争力等を考えると小人数での授業、少人数での行事は好ましくないと考えます。 ・基本的な考えは、統合には反対ではないが、小学校がけることで太田地区の未来図が全くの不透明になり、子供の利便性を考えると太田地区以外への転出者が多くなり、人口減に拍車がかかると思われる。それが一番心配している。スクールバスの充実、あわせてコミュニティバスの運行等の利便性低下防止対策をしっかり取ってほしい。
53. 伏木中学校区 男性 40 代	財政難でもあり、3 つの学校が統合することにより、経費の削減にもなる。 子どもたちにおいては、少人数の良さもあるかもしれないが、たくさん仲間から刺激をうけることにより、競争が生まれ、能力向上につながるのではないかと考える。
54. 中田中学校区 男性 40 代	小中一貫教育の推進は、時代の流れに伴い必要なことだと考える。全国的には、かなり前から取り組んでいる自治体があることを思えば、遅いとも言えるが、今後、その方向に向かっていくことは評価したい。 小中一貫校となることについてのメリットとして、以下のようなことが考えられる。 ・小学校と中学校が一つになることで、「学校」がこれまで以上に地域の中核的な場所としての位置づけとなり、地域全体で学校教育をしていくコミュニティ的な形が展開できる。 ・9 年間を通して系統性・連続性を意識した教育活動を受けることができるため、より長期的な視点に立ったきめ細かな指導が実現できる。 ・異学年交流を活性化させたり、地域教育力を学校に取り入れたりしやすくなる可能性があり、中学校入学時も他校との交わりがなかった中田の子どもたちにとっては、社会性を身につける学習機会の充実が期待できる。 ここに挙げた内容以外にも、多くのメリットが考えられるが、それらが現実となるよう期待する。 そのためにも、様々な角度から研究し、具体的な対応となるよう配慮願いたい。
55. 中田中学校区 男性 40 代	今後の児童生徒数の推移を含め、様々な情報をもとにした構想であり、将来的な状況および小中学校の枠にとらわれない 9 年間を通した一貫教育の必要性についても十分に理解できた。しかし、小中一貫教育のねらいが一般論的な内容であり、高岡市として具体的にどんな将来像を描いているのか、この制度を通してどんな特色を出そうとしているのかなどについては、明確なものが見えないように感じられ、ただ児童生徒数が減少していく状況への対応として制度化するというような程度にしか感じられない。また、現段階では、今後の方向性としての段階のため、制度についての具体的な内容は示されない状態であり、学校も地域も、ほとんどイメージがもてない状況である。こんな中、国吉中学校区においては、平成 32 年度から義務教育学校になるということで、不安に感じている関係者もいると聞いている。 中田においては、地域にとっては、これまでとは違う形にはなるものの、小学校、中学校が存続するという点に対しては、地域全体が安心しているところである。しかし、小中一貫教育に対する具体的なイメージはもてず、これから先に対する不安はぬぐい去れない。 小中一貫の実現は、少しでも早いほうが、地域の子どもたちにとってはいいと考えているが、実現までに時期をみながら、地域説明会等を開催し、具体的な内容について説明してほしい。
56. 中田中学校区 女性 50 代	中田地区では、子どもの数が減ってきており、学校がなくなるのではないかと心配していましたが、小中一貫校になるということで、とりあえずホッとしています 一方で、いくつかの課題といたしますが、これから具体的に検討しなければならないことがあると思います。 ◆学校の場所はどこになるのか ◆現中学校の場所は、小学生にとっては大変 ◆その場合、通学距離が遠い小学生に対する対応策はあるのか ◆どの教科でどのような指導体制が可能なのか ◆全教科対応できる教員が配置されるのか ◆例えば義務教育学校となった場合 9 年間の割り振りはどうなるか ◆学校行事は小中合同になるのか ◆PTA 組織は小中一体となるのか ◆部活動とスポーツ少年団の活動は一貫化するのか などです。 これから少しずつ明確に示していただけることと思いますが、その際には、十分に地域や学校のご意見を反映されるようお願いします。 また、説明会の際に、先生方が忙しいので、負担を減らしてほしいという意見が出ていたかと思っています。再編をきっかけに、教員の負担が増大しないよう、大きな課題として捉え、改善を図っていただきたいと思います。小中一貫校となっても、そこで働く先生方が生き生きとしていなければ、子どもたちの成長はなく、小中一貫の意味がないと主観います。小中一貫教育を進めていく場合、具体的にどのような業務が増えるのか、それに対してどのような対応が必要であり、どこまで対応可能なのかについてなど、十分な課題の洗い出し、分析が必要であり、具体的な対応が必要不可欠であると考えますので、よろしく願います。
57. 中田中学校区 男性 50 代	中田地区では、小中一貫教育の実践校を視察するなど、地域全体で、これからの教育の方向性について考え、動いている。高岡市としても、同一の方向に向かっていることがわかり、安心している。 今後、より効果的な小中一貫教育の在り方について、具体的なモデルや様々な実践例を示したり、研修会等を設定したりするなど、学校や地域がより具体的なイメージを持てるような対応を進めてほしい。その上で、高岡市と学校と地域とが理解を深めながら計画的、段階的に進めていくことが必要だと感じている。
58. 中田中学校区 男性 60 代	日本の人口減少に伴う生産年齢人口の減少、グローバル化の進展による変化がある中、地元高岡市においても少子化の進行により在籍児童数が 4 0 % 以下に減少しており、本検討会議で教育委員会での統廃合は致し方ないと思われます。 しかし、今後、未来にかけ小中一貫校であっても、地域から教育の場を無くしては、地元の減退が加速すると考えられます。 一方、再編統合、小中一貫校をすすめることで、9 年同一環境となった場合、陰湿なイメージの温情、不登校の増加につながらないか懸念しており、学校の選択等、配慮願います。

59. 高陵中学校区 男性 40 代	①統廃合校区：高陵校区 ②統廃合の推進：賛成致します。 ③統廃合時期：現在市からの予定では遅いと考えます。2021 年度 4 月の統合を目指して頂きたい。近隣周辺の自治体とは少なからずとも格差、開きがあるように思います。 ④前回の高陵校区の説明会からでは、教育長の説明は非常にわかりやすく納得するものであった。ただ統合時期は前にも述べたように一刻も早く進めるべきだと考えます。当校区は、周辺に高岡駅があり県内の他市の学校へも比較的通いやすい状況です。今春から私立の小学校が開校するという事でそちらの小学校を選択する保護者が今後、ますます増加すると考えます。より良い人材の流出につながると考えます。また、子供が育つ環境整備ということでは、高陵ブランドをより高めるなど更なるよりよい環境整備が必要であると思います。 ⑤前回の高陵校区の説明会に参加して、参加された方のほとんどは平米校区の住民の方が多く、また、意見の 100%が平米校区の住民の方の意見でした。前回の説明会は高陵校区の説明会というよりも、平米校区の住民のための説明会であったという印象が非常に強いです。また、発言されていた方自身の独自の考え、意見が多く、子供たちや、保護者の目線に立った意見ではなかったと思います。 ⑥今後は、対象となる児童、児童の保護者の方々の説明する機会を設けていただき、その方々の意見を汲み取っていただきたいと考えます。例として、参観日などの後の時間を利用して懇談会、説明会を開催する等。
60. 高陵中学校区 女性 50 代	平米小学校と定塚小学校の統合に賛成 1．高岡市は財政難で苦しんでいます。小さな小学校を二校統合することで経営の合理化をしてほしいと思います。 2．平米小学校は今一学年 20 人以下になっています。以前は元気がよくて優秀な子ども達が沢山いて活気がありました。運動も勉強もよくできて賑やかな声もよく聞こえたと思います。少ない人数で学級経営や学校経営は難しいと思います。子どもは、我がままになるし嫉妬や妬みも激しくなっていると思います。多くの人数の中でほかの人の長所や短所を見て高め合いながら成長していくのだと思います。 3．平米校下は人口減少と高齢化で悩んでいます。大都市からの I ターン U ターンをすすめて下さい。外国人の移住があってもいいと思います。都会で成功できない人は故郷へ帰って来た方がいいと思います。 ※新しい政策に反対する人には、沢山の税金を負担してほしいと思います。
61. 高陵中学校区 男性 50 代	基本的には賛成で 10 年とは言わず準備の整ったところから速やかに実施して頂きたい。 一貫校の在り方としては、可能な限り施設一体型を望みますが、物理的に無理であれば、隣接型でも仕方ないと思いますが、分離型はあまり意味がないかと思ひます。 対象に挙がっている 6 地区にはそれぞれ特色（町の様子、文化的なことも含めて）があり、それに応じた細やかな対応が求められると考えます。 例えば国吉地区などは 9 年間にわたってクラス替えがなくなるため、家族的な雰囲気は作れるメリットはあると思いますが、いじめなどのトラブルが発生した場合、今まで以上のメンタルケアが必要になると思います。 また、校下が広範囲にわたるケースがあると思いますが、遠距離の場合の通学手段の確保、冬期の対策なども必要かと思ひます。 人口分布も 50 年前と現在ではかなり違ってきていて、場合によっては校下範囲の微調整も必要なのではないか？ 将来、高岡市には小中一貫校とそうでない学校が混在するわけですが、お互いのメリット、デメリットを考えて越境入学を考えるケースも出てくると思ひますので、その場合の柔軟な対応も熟考しておかなければならないと考えます。
62. 高陵中学校区 女性 40 代	市内の児童生徒数につき数字で明確に示していただいたことで、漠然としか認識できていなかった少子化の現状と校区の見直しの必要性を理解することができました。 小規模校には小規模校の良さ…例えば団結力、愛校心、地域とのつながりの強さ等があり、校区の方々の思い入れがあることは事実で、それはとても素晴らしいと思ひます。けれども、実際の教育現場、特に設備 etc のハード面を考えた時、世の中の変化に限られた予算で対応していくためには、小中学校の再編統合は避けられないと思ひます。 それならば、前向きに、より良い教育環境を作るために校区にこだわらず、各地域は持つ力を市全体に広げていくつもりで、取り組むべきだと思ひますし、教育委員会の皆様には、その橋渡しというか、まとめてひっぱり役を P T A や各種団体と協力して行っていっていただけたらと思ひます。 小中一貫校については基本的に賛成ですが、学力向上第一主義のようになってほしくはないと思ひます。 もちろん、子ども達に生き抜くたくましさ、能力を身につけさせる環境を整えることは必要ですが、個人的には今の子ども達がとても忙しくて大変そうに感じるので…。無理のないカリキュラムを組むことが可能になるという意味では良いと思ひますが余裕のない環境はいじめや不登校という問題につながると思ひます。
63. 高陵中学校区 男性 80 代	平米小学校のお知らせ“おおとり”を拝見しますと、児童数が一学年で十数名、男女児童数のバランスも悪く、皆とのふれあい、個性・人間性の成長にも良くないのではと心配します。 グローバル化、スピードの早い技術革新と社会に生きる力をつけられるのか、良き環境の準備をすべきです。 全国では中高一貫校が発揮、高岡ではまず小中一貫教育を行うべきではないでしょうか。 前年、伝統的建造物保存の全国町並ゼミ長野大会に参加した時、意見交換会で、学生スタッフと話す機会がありました。東京出身で国立大教養課程の女子学生で、都立高校の先生志望。東大入学者が公立高校の入りにくい中、日比谷高校始め 5 つの都立高校が各校独自のテストで入学生を取っているという。その問題を考えられる先生が足りなくて、これも独自のテストをして専門課題に強い先生をそろえているという。これが大変な高倍率で人気が良く個性派の先生がそろい。生徒も自由でユニーク。そんな所で皆と交わりたいという。考えさせられる話でした。
64. 高陵中学校区 男性 70 代	骨子案（H30. 11. 28 付）の第 3 章第 2 節 3 ーウの意見に全面的に賛成する。 自分の家庭内においても中 1 ギャップがみられ、また平米小は一学年一学級のため、お互いの切磋琢磨がなく、中学に進学して二学級編成の定塚小出身者との間に意思疎通を欠き同じ小学校出身者で群れる傾向がある。 開町以来の歴史をもつ中心地に立地する平米小の伝統を継承し、未来につなげていくために、施設一体型の小中一貫校を早急に整備されることを望む。 また跡地は一般財産に変更し、宅地分譲地や老健施設に売却し、新校舎建設の一部に充当してほしい。その際には、敷地の片隅に小さな碑一つがあれば十分である。
65. 中田中学校区 男性 60 代	我が高岡市中田地区は、今から 50 年前に、二つの小学校が一つの小学校に統合され、中学校は、一つで、当時は組合立であり、中田地区住民のほか、砺波市東保地区、旧大門町広上地区の住民も通学するものであった。よって、長く 1 小学校、1 中学校でできたところ、少子化の進行により、小学校在籍児童数・中学校在籍生徒数のピーク時から、大幅な減少に至ってしまった。また、中田地区は、高岡市としては飛び地の地区であるので、私をはじめとする中田地区の住民は、高岡市教育将来構想検討会議の結論として一番心配したのは、庄川をはさんだ戸出地区との小学校・中学校の再編統合であると思う。僅か 5 キロ程度の近距離であり、小さいものは大きなものに負かる宿命にあるのかと心配していた。仮に、戸出との統合という結論が出た場合は、中田地区の住民は、猛反対する者が大半を示すものと予想していた。 しかし、平成 30 年 11 月、高岡市教育将来構想検討会議の中間的な取りまとめとして、概要を新聞報道で知り、その詳細については判然としなかったが、平成 30 年 12 月 23 日の市民懇談会で市教育長から、中田中学校区に限定した内容で、詳細で分かりやすい説明と資料により、同検討会議の中間取りまとめの結論は、納得できるものであり、我が中田地区としては、胸を撫で下ろすことができるものであると私自身納得し、市民懇談会においても、反対する者はいなかった。 その根拠としては、今後 6 年間における児童・生徒の動向、中田小学校及び中田中学校では、学校活動にそれぞれ地域性を生かし、独創性が存在していること、地元中田地区の強い支援が存在するというものであり、中田中学校区では、戸出との再編統合はなく、将来は中田小学校と中田中学校を併設し、小中一貫教育を推進するというものであり、安堵した。 私見であるが、最後に、教育部門のみでなく、高岡市全体が本腰を入れて取り組んでほしい。 小学校在籍児童数・中学校在籍生徒数の将来の統計的数値は、現存する住民を基に積み上げられた数値であるので、現在幼い子供を持つ親御さん達が、高岡市は福祉面では接続する他市に比べて、「劣る、魅力に欠ける」ということを聞いたこともある。 高岡市全体がこれを払拭するために取り組み、また、市街化調整区域等を見直して他の市町村から若い生産年齢の人の移住・転居を進めれば、必然的に子供が増えて在籍児童生徒数が増え、人が増えれば、税収増となると考える。
66. 高陵中学校区 男性 40 代	・説明会に参加して、まず思っしたのは、富山市に比べてあまりにも遅れている事に驚いたのと同時にとても残念に思いました。 私は平米小出身ですが、現在は定塚校下に住んでおり、子供たちは定塚小に通っています。母校である平米小がひと学年 10 数人というのは良い面もちろんあるとは思いますが、とても問題であると感じていました。 とにかく 10 年といわず、1 日でも早く進めてほしいです！！ ・お年寄の方々に説明してもあまり意味がない。子供をもつ世代、これから子供を育てていく人たちの意見をもっと聞いてほしいし、その様な機会をつくってほしいです。特にお母さん方の・・・。 ※1 日でも早く実現させてほしいです！！ まずは定塚小で一緒になって、新しい校舎などはその後考えて進めていければ良いと思います。

67. 伏木中学校区 女性 40 代	小中一貫教育については賛同する面も多く、中長期計画といわず、今すぐにでも実践していただきたい。しかし、小・中学校の併設などのハード面に関しては高岡市の財政を考えるといささか不安が残る。 私は伏木在住なので伏木校下を例に挙げると、中学校に併設することによって ①プールの改修（現在は故障しており、使用していない） ②スクールバスの駐車場の確保が困難 ③給食室の新設（小学生にとっては食育は必要不可欠であり、自校調理は必須と思われる） などの問題が生じ、大規模な工事が必要となることが予想される。 また伏木小学校に限っては、体育館を新設したばかりであり、有効活用が望まれる。 さらに伏木小学校は県内最古の小学校という歴史もあり、単独として（または古府、太田を吸収する形として）残していくことが地域の願いでもあるように思う。
68. 芳野中学校区 男性 50 代	小中一貫教育に関しては、小・中の縦のつながりはもちろん、小・小の横のつながりがより重要になってくると思いました。校区の小学校のアクションプランを同じにし、学力面や生徒指導面で「目指す子供像」を統一することもよい試みだと思いました。（児童の実態や保護者・地域の願いが違うということで反対意見が出そうですが） 「Compass over Maps」 この言葉が胸に響きました。大規模の学校では、様々な児童がいます。外国人児童も多数在籍しています。保護者の価値観、教育観は多様です。校区に対して熱烈な思いをもつ地域の方々があります。大事なのはしなやかでたくましい学校経営ビジョンをもつこと。これが大事なコンパスになるのだと思いました。
69. 芳野中学校区 男性 50 代	子供たちに必要な資質・能力を身に付けさせるためには、文部科学省が示している学校の適正規模を維持することはとても大切なことだと思います。子供たちは、多くの教員や仲間と関わり合って成長していくと思います。これらのことから、高岡市が目指している小学校の再編統合や小中連携はとても大切であると再認識しました。 学校、保護者、地域が主旨をよく理解し、一丸となって高岡市の構想に向かって努めていくことが大切であり、将来の高岡市を担う子供たちのためにも、ぜひ実現していきたいと思います。 学校の教員にとっては、小中両方の教育内容を十分に理解する必要があるなど、大変な面もありますが、各校の研修の一つとして位置づけるなどして対応していくことが必要だと思います。
70. 芳野中学校区 女性 50 代	明確なデータを基に、学校の再編統合についての具体的な話を聞くことができました。高岡市の子供たちが皆等しく意欲的に安心して学べるよう、公立学校の適正規模・適正配置をはじめ、小中連携教育等様々な取組に努めてくださっていることを大変ありがたく感じています。 質疑で出された内容のような課題も多々ありますが、現場で何ができるのか、何を優先して進めていけばよいのかを考えながら取り組んでいただきたいと思います。また、地域の方の声の中に「学校の教育方針に共感して」「(特色ある)教育活動に憧れて」という発言があり、学校の思いを発信していくことや、子供たちの学びにつながり、地域の方々にも理解していただける活動を積重ねていくことの重要性も改めて感じました。 未来の高岡市を担っていく子供たちの育ちを周りの大人たち皆で手を携えて支援していくことが必要だと考えています。
71. 牧野中学校区 女性 70 代	米谷教育長の話は現状、施策、方策等、とてもわかりやすく説得力があるすばらしいものでした。 社会が急激に変化する大きな転換期に子どもたちへの教育の充実は不可欠であること、小中一貫教育の義務教育課程の質の向上が重要となっていること、又、全国での小中一貫教育の取組の成果が7～8割が満足との高い事実の報告があること、我が高岡市においても小学校の再編統合計画が六つの中学校区で推進されつつあること等、理解することが出来ました。 では、牧野中学校区は一つの小学校、一つの中学校であり、既に英語であったり、スキー指導であったり、万葉かるたの合同練習や父兄の講演会等、交流連携体制がなされているとのこと。しかし、中学教員の移動時間、勤務に負担がかかる課題があるのではと考えられる。 案として、老朽化している中学校を新築(改築)の際、小学校併設等の小中一貫教育を...と考えますが10年視野に入れてはでしょうか。 ※中学校付近はまだ住宅が建ってなく、田や畑が多く可能性はないでしょうか。
72. 牧野中学校区 男性 40 代	小中一貫校と聞いて、まず思い浮かんだのが「中一ギャップ」の解消です。私自身、中一ギャップを経験しています。新しい環境に対する不安、環境に慣れるまでの苦労等の記憶があります。 私の子どもは、牧野中学校へ入学する前後にはストレスを感じている様子はなかったと思います。親としては子供がストレスなく学校に通ってくれていることは大変喜ばしいことと思います。 ただ、他の校区でこれから再編統合が行われますが、再編するタイミングでは必ずギャップが生じると思われますので、学校と保護者が互いにコミュニケーションを密に図ることが望ましいと考えます。
73. 牧野中学校区 男性 40 代	小中一貫教育の推進をされるに伴い、教員の相互乗り入れの実施、また予定の中教員への負担やパフォーマンスの低下といった悪循環が懸念されます。その対応策はあるのでしょうか。 また、昨今、A I の飛躍的な進化が世間を賑わってます。行く行くは将来、学校教育の中でも、バーチャルティーチャーが教壇に立つ事になると思います。この課題に対して具体的な準備や構想はされていますか。出来れば先駆けとなる様に設備投資や人材育成に力を入れて欲しいです。
74. 牧野中学校区 男性 40 代	・検討内容の取りまとめについて説明、意見募集するのであれば、もう少し具体的な検討内容、活動施策を出して欲しかった。あいまいな知識しか得られず具体的な意見が言えない。 ・児童数減少に伴う学校統合は、対象となる学校によりメリット、デメリットが変化します。元々児童数が少ない所は、人数が増える為出来る事が増えます。元々人数がいる所は、知らない子が入ってくるだけであまり変化がないと感じます。統合による効果を出す為に、実際に統合経験や知識がある先生を配置する等の対策も必要と考えます。 ・小中一貫教育は多くのメリットがあると思います。牧野地区は昔からその体制に近かったのではないかと思います。ただ、不安要素もあります。このような体制変更は年数をかけて行いたいと思います。しかし、その変化の間にいる先生、生徒は負担が大きくなります。ある程度まとまった変化、スピード感が必要と考えます。先生の負担の対策も言われていましたが、授業時間以外にもやる事が増え、負担になると考えます。授業以外での小中先生の連携による効率化策が必要です。 ・プログラミングについては、子供たちが取り込む画面を見て一人ずつ判断する事が必要です。(結果も必要ですが、どうやってプログラムを作ったかが重要)先生のP C画面で子供たちの画面が全て見られるようにすれば効率的です。
75. 芳野中学校区 男性 40 代	小中一貫教育が全国でこんなにもすすめられていると初めて知りました。また成果で9割以上の高い評価にびっくりしました。 高岡市でも小中一貫教育がすすめられているようですが厳しい財政状況で十分にすすめられるのか不安です。 H30 年から H36 年の 6 年間で 200 人未満の学校が 11 校にもなることから子供の減少はかなりすすんでいます。 子供の減少＝小中一貫教育がベストなのかわかりませんが、教育基本方針の「確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむ教育」がすこしでも感じられる方法をさぐっていったほうがいいです。
76. 芳野中学校区 男性 40 代	学校の統廃合に関しては、通学の距離や方法などからも、正直、否定的に感じている部分もありましたが、一定規模の児童数を確保することが子供達の教育充実につながるということを改めて知ることができました。 ただ、統廃合と小中一貫教育は別々の目的があるものだと思います。 統廃合を予定している等、小中一貫教育に移行しやすいところの構想は記載されているものの、その後の高岡市としての将来ビジョンがどうなっているのか。とりあえずの試行的モデル校なのか。評価が高かった場合には市内全域に拡大するのか。 全国の小中一貫教育に対する評価は概ね高いものが多いようですが、義務教育という観点から児童にとっての公平性ということも大事だと思います。
77. 南星中学校区 男性 50 代	歴史と伝統のある高岡市にとって、小・中学校はそれぞれにその地域の特色と誇りの下に、これまで歩んできている。 南条小学校は昭和 45 年に福田、佐野の 2 小学校が統合されスタートし、やがて 50 年となる。大きな課題とはなっていないが、福田地区と佐野地区の温度差は今でも感じる。 小学校再編は行政の主導となろうが、地域自治体内にコーディネート役となってくれる人材がいるかないかは重要なポイントだろう。これは現存の学校においても同様だと思われる。 少子化の波の中で再編が余儀なく迫られていることは事実だが、地域の賛同を得るためには、時間と住民が納得できる対価(施設面等の具体的メリット)が必要だと思われる。厳しい財政状況にあっても学校施設老朽化も進行しており、再編の対象とならないであろう学校の補修等、安全確保も並行して行っていただきたい。切実な問題を抱える現場もある。 小中一貫教育の推進は重要であるが、次々と新しい指導内容が示される中、現場は慢性的な人手不足の状態であることは否めない。教員の働き方改革が叫ばれているが、根本的な解決策は正規教員を増やすことだと思えてならない。 小中一貫教育推進に向けて現在の 6 区域制の見直しも必要かと考える。

78. 南 星 中 学 校区 男性 70 代	1 博労小学校児童数の減少について 「教育充実の観点から、保護者や地域の理解を得ながら再編統合を着実に進める」とあるが、南星中学校区では、博労小学校の児童数の減少が顕著であると指摘された。 博労では、空き家が増えている。住民がよりよい生活環境を求めて、転出していると聞く。（確かな根拠があるとは、言いがたいが、案外事実であることが多いと思われる。） H36年の予測学級数は、8学級とあるが、その時を待たずして、8学級、いや、それ以下となることが、危惧される。いつかは、「国の学校規模の標準」に基づき、小規模校とみなされる。 現象を続ける状態を座して待つのは、いかなものかと考える。 一つは、牧野や木津地区のように住宅分譲、道路整備等を行う。 二つには、博労小学校に隣接するふれあい福祉センターや、博労公民館と連携し、高齢者も児童も共に学ぶ特色ある学校経営を行う。 「再編統合」ありきでなく、「教育将来構想」は、高岡の「都市再生プロジェクト」であると考える。 2 横田校区の見直し 川原、西条、横田 それぞれが、特色ある教育活動を推進している。 小・中学校の児童・生徒、金屋・川原・横田の人々、高校生、専門学校生、そして、大学生も参加し、多くの人が集い、活気ある祭りが行われている。「ものづくり」の高岡を築き上げてきた気概は強い。再編統合の基盤は、すでに築かれていると考える。 危惧するところは、校区が大きすぎないか。 高岡西高校の後を統合小学校とすると聞いたが、横田校区の北島、和田に住むものにとって、通学の距離がな問題だと考える。そして、国道8号線が通っており、事故危険が懸念される。加えて、三協立山に通勤する人の車で、朝・夕渋滞する。 小学生が、とりわけ1年生が、重いランドセルをしょって通学するには、様々な不安がつきまとう。 木津から和田にかけて、さらに、木津の庄には、住宅が増えている。現在は、横田小学校の校区であるが、やがて道路が整備されれば、木津小学校や南条小学校が、通学距離から考えると、適切な通学距離と思われる。さらに、やぶなみの駅を利活用すれば、北島、和田地区は、南条や木津小学校が、近くなる。 川原、西条、横田小学校の再編統合を是とするが、一つは、校区を見直す、二つには、北島、和田地区限定で、どの学校とするかを、保護者の選択とする。 スクールバス運行案があるようだが、児童の活動が、スクールバスの時間で制限される。 スクールバスに乗る児童を集め、確認し、無事家にたどり着いたかどうかを念には念を入れて確認するのは、教師である。それを回避してほしい。 もっと危惧するのは、校区の見直しに伴って、選挙地盤が変動する。 適切な児童数で、充実した教育の推進のために検討されてきたことが、違う立場のひとから思わぬ反対意見が飛び出すことである。 3 I C Tの利活用 I C Tの利活用について、「コミュニケーション能力」という言葉が、先生方のみならず、地域住民からも聞こえてきます。 高岡市においては、I C Tの利活用について、専門的なすばらしい技術と知識をもっておられる方が、多くおられます。 市の教育センターで、委員会を立ち上げ、教師手作りの教材を作成していたときもあった。当時委員であった人が、現職でがんばっておられると聞いている。 タブレット端末を利活用し、すばらしい美術の授業、国語では、竹取物語の音読、音楽の発声法、理科の授業等もあったと記憶している。社会科では、資料を読み取り、グループでまとめた意見を、プロジェクターで拡大しクラス全員で、活発に討議していた。先生方の中には、熟達した人が多くいると、私は、思っている。是非、日々の授業を充実したものとするため、Wi-Fi、アイパッド等を各学校に、配布されるよう望む。 4 教育には「人と時間とお金」がかかる。もっと教師を大切にする、教師にもっと時間を与えよ。もっとお金をかける。 市内小・中学校の学習指導、生徒指導が、大方の支持を得ている今、より先生方の専門的な力を十二分に発揮できる環境を築いてほしい。 放課後には、授業の準備、教材づくり、各学校がかかえる課題解決のための具体的解決策の立案、実施に時間が取れるよう、教育が大きく変化する今、改革をしてほしい。 5 市教委や学校は、思うとおりにやれ 地域は、また、各種団体は、行事等で安易に児童生徒の動員を要請する。今住む町でも、そのような状態だった。 テレビ等で、その土地ならではの活動が報道される。「総合的な学習の時間」の活動として、誰かが、すばらしい提案をされたのだろう。が、どう見ても単発のイベントとしか思えない。「深い学び」ではない。 子どもの「主体性」「課題をとらえ、その解決を生徒等が自らの力で行う」「深い学び」等の文言が、教育雑誌に並ぶ。 「主体性」等の言葉の重みを認識し、市教育委員会や学校の意見に、謙虚に耳を傾けるべき。市教委や学校の計画的・継続的な真の「深い学び」の教育実践に期待する。 6 学校の児童生徒が落ち着かないのは、地域が悪い。 校長・教頭は2～3年で転勤。教諭は、6～7年で転勤。義務教育9年間を通して、有形無形にかかわるのは地域である。時間の多さからみると、地域が教育の質の鍵を握っている。 だが、地域で育てるために、地域が何をすべきなのか。地域にどんな力があるのか、本当に真剣に考えられているのか疑問である。 コンビニの前に生徒がたむろしている。何とかしてくれ。生徒が騒いで、お客さんに迷惑がかかるなど、「地域の子どもは地域で育てる」というスローガンは、泣いている。 「高岡市教育将来構想検討会議」から、市の連合自治会や子どもたちとかかわるあらゆる団体に向けて、「地域の子どもは地域で育てる」というスローガンのもつ意味・意義を訴え、市民が、「高岡市の子どもは、高岡市民で育てる」という意識の醸成に努めてほしい。 7 結びに 「児童生徒数の激減」というピンチ。だが、「ピンチはチャンス」である。 牧野、中田、南星、戸出など、住宅地として、開発されている。名前が挙がってこない。時がたてば、今名前の出ている学校と同じことが言われるだろう。射水の太閤山が、よい例である。今射水のそこに住んでいる人が「老人の町」と言った。 「高岡市教育将来構想」とは、高岡市の「将来都市構想」と言えるのでないか。 70を過ぎ、老害の域にある。一笑に付す戯言が並ぶと、解されて良し。 「児童生徒数の激減」は、時代の流れ。流れに逆らわず、縮小に次ぐ、縮小に陥るのは、腹立たしい。起死回生の妙案は必ずある。市の教育委員会に期待する。
79. 南 星 中 学 校区 男性 70 代	1、少子高齢化、人口減少の現実、時の趨勢、あがらえるものではない。現実、親は、子が大勢の中で育って行くことが理想と思っていると思う。 2、学校再編統合は上記から言っても仕方のないものと考えます。 3、統合校名は地域を表し、子供たちに学校と地域に自信を持たせる名前にしてほしい。東部、西部はもってのほか。 4、小中一貫校の件は、先生の専門分野を、各学年対応への教えには、異論のないことであるが、果たして中学2年と小学生2年が、校長先生などの訓示が同じ話し方、同じ場所でいいものであろうか。 5、体育施設など、つまり、小学生1年から5年生位と中学生の運動具等、別用具、別施設だと思うが、また、階段の高さや、教室のつくりなど当然掌握、配慮されるものと思います。 6、教師の激務・新指導要綱課題への対応の一環として、専門家、それなりの一般退職者の方々を講師として外部招請されたいと思います。 7、スクールバス等、登下校時の安心・安全に最大限配慮していただくようお願いいたします。

80. 南 星 中 学 校区 男性 60 代	「小学校と中学校はどうあるべきか」との説明が将来構想のことだと思いますが、受け皿（学校の再編統合）と中身（教育内容）は分けて話し合った方が良いと思います。 受け皿については、1 学の児童数は先生が教えやすい人数はあると思いますし、1 学年の学級数は複数ある方が違った人とクラスになるなど児童の立場からは望ましいと思います。とすれば、再編や統合は避けて通れないことだと思います。保護者や地域が行政に一方的に求めるのではなく、行政の提案を受け、地域共ども皆で課題を話し合って知恵を出して、推進していくのが望ましいと思います。木津小学校が出来た当時の細かな状況は知りませんが、何度も何度も話し合いをされたと聞いています。現在でも地域の方々が宝物のように大切にしていることから、皆さんが自分のことのように話し合って知恵を出されたのではと想像しています。 中身については、小中連携教育も、小中一貫教育も、学校施設の相互活用も、また市や県の施設の活用も積極的に進めたら良いと思います。ただ、課題はいくつもあると思います。 小学校の教育に、英語やプログラム、パソコンなどの授業は、私は不要と思っています。 教える側の負担増に対して得るものは少なく、中学校からで決して遅くないと思います。 優れた能力を持つ人の多くが、小さいころから、それに接して吸収していたことから、このような授業を行うことになったのではと想像しています。しかし、その方々が接していた環境は、学校で学べるものとは質も量も全く異なるものです。その家庭に、あるいは、野球チームやパソコンクラブなどの専門家集団に任せた方がよいと思います。ただし、そこへの支援は課題です。 小学校に野球の授業はないのは不要だからですが、プロ野球の選手は育っています。 小学校ですべきことは、実際に身体を動かす経験を数多くやることだと思います。 自分でやってみて、上手くいった上手くいかなかったを通じて工夫すること、勝つてうれしいと思ひ負けて悔しいと思うこと、言い争いをして決着をつけるのはどうしたらよいか考えること、一流の人を見てすごいなあと思ひあこがれること、みんなと協力して何かを成し遂げ充実感に浸ることなどを通じて、生きるための基礎的なことを芽生えさせることです。 思いを書きましたが、参考にしていただければ幸いです。
81. 南 星 中 学 校区 女性 50 代	南星校区は、小学校の再編統合もなくこれまで通りとのメディアの報道のためか、地域の参加人数が少なすぎた。 教育長の説明は、とてもわかりやすく、高岡市がかかえる課題が人口減少にあるというのがよくわかった。 私自身は、娘 4 人が南星中学を卒業しました。母の目線から意見を述べさせてもらいます。 まず、小中一貫教育校は、児童数が少なく再統合の対象となる学校のための開設が望ましいとされているが、南星は対象外です。小学生が中学校の刺激を受け、英語や理科の勉強の励みとなります。高岡高校への進学率が高い K 中学、そこに通う小学生がまた勉強意欲が高まります。うらやましいです。南星もして欲しいです。 次に、小・中だけでなく中学・高校の連携も視野に入れられたらと思います。 例えば、福岡高校の英語。高商と西部中近いですね。何かできそうですね。南星地区には、近くに西高校があったのに、なくなったのでさみしいです。また私立高校とも連携すれば学力、運動なども向上できるのではと思います。 人口減少の要因とは何かを考えたときに、私達個々が魅力のある市を作り上げていかなくてははいけない。 子ども達が社会に出て、生産人口となる、そのために、教育を受けさせ、家庭で育て上げていくわけです。 今回、地域の女性の方々の参加が少なく、残念でした。 教育長の先生からは、学校生活のお話や、今後の学習のあり方等を教えていただきました。おもしろかったです。 娘たちは、社会に出たり、結婚したり、それぞれの道を歩み、生産人口となっていました。南星中でのソフトテニス、吹奏楽、バドミントン、卓球でしたが、今になって役に立っています。 私の家のまえからは、木津小学校と南星中学が見えます。子どもが学校へ通わなくても、大事な学校です。 学校や市だけで作るのではなく、地域や家庭で子ども達を育て上げ、住みやすい、魅力のある高岡市にしていきたいと思います。
82. 南 星 中 学 校区 女性 50 代	博労小の児童数の減少に対する手立てを行わず、このまま放置してよいのでしょうか。10 年後に考えるのではなく、今から地域の方や保護者からの意見を聴く場を設け、校区の再編等も視野に入れた対策を講じる必要があると思いました。 高岡やぶなみ駅周辺の和田地区に新居を建設予定の方から、南条小ではなく木津小への入学の希望が出ていると聞いていますが、木津小には余分の教室がないため、児童数の増加は手放しで喜ぶことはできません。できるだけ早い段階で、校区の見直しの議論を始められたらと思います。
83. 牧 野 中 学 校区 男性 50 代	再編統合を推進する事は必要不可欠です。その中で教育資源の効率的な活用と教育の充実を図るというねらいが明確に示されており、教職員のみならず住民の方々にも、小中連携の意義について理解が浸透してきていることを実感しています。この流れの中、各校が地域の特色を生かした新しい学校づくりに取り組む必要があり、小学校と中学校の学校の連携が大切だと考えています。牧野小中学校では、小学校 1 つ、中学校 1 つという特色と校舎が離れた場所に立地していることから、児童と生徒と一緒に活動することよりも、9 年間を見通した確かな学力の定着を共通の目標に掲げ、互見授業や合同研修会を通して、授業改善に取り組んでいます。学校間の意見交換を頻繁に行い、意思疎通を図って、牧野独自の小中連携の在り方を模索しています。その中で、学力調査等の結果において実際の成果を確認する事ができています。万葉かるた大会におけるアベック優勝も目に見える成果の一つだと考えています。高岡市が推進する小中一貫教育を、どう具体化し学校づくりを進めるかではないでしょうか。
84. 牧 野 中 学 校区 女性 50 代	牧野中学校区は、いろいろな場面で小中連携教育を進めているところです。具体的には、小中合同研修会や互見授業を通して、義務教育 9 年間を見通した確かな学力の定着を図るための取組や、特別な支援を必要とする生徒への対応について、細やかな情報交換などを行っています。 小中一貫教育で、中学校の教員が小学校で学習指導を行うことはたいへん効果があると思います。教科の特性もあり、全ての教科というわけにはいかないと思いますが、英語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭に関しては、小学校に対して専門的な指導が行えるという点で児童にとっては非常に効果的であり、中学校での学習にスムーズにつながると思います。また、音楽、美術、技術・家庭は中学校での授業時数が比較的少なく、一部の小規模校である中学校では、美術や家庭科の教員が配置されていないかったり、配置されていても授業時数が少ないために T T や特別支援級で専門教科以外の授業を担当しているのが現状です。その点、教員の立場からしても、他教科の授業を担当するよりも、自分の専門である強化を小学校で指導できることは有意義なことだと思います。 但し、小中の教職員間での打合せ時間の確保や、小学校での指導のための教材研究による負担感・多忙管の解消等の課題があることも事実なので、十分配慮の上で取り組んでいただきたいと思います。 高岡市にとって再編統合を推進する事は必要不可欠だと思います。これからも高岡市の充実した教育の実現に向けて、自分自身も努力していきたいと思います。
85. 牧 野 中 学 校区 女性 50 代	牧野地区は、小学校、中学校が同じで 9 年間一緒ということもあり、友達間の絆が大変強かったと思います。生徒と先生との関係也非常に良かったと思います。 子供の数が減り、統合するのは、仕方のない事だと思うが、生徒数が多くなり、子供たちに目が届かなくなる様な事がない様にしてほしい。
86. 芳 野 中 学 校区 女性 50 代	◆小中一貫教育について 小中一貫教育は、全国的に導入されていると報告されているが、実際の教育現場では成果報告だけではなく、問題点は浮彫にされているのでしょうか。 例えば、今日の社会で問題になっているいじめの問題に始まり、学習や生活態度の習得が一定水準に届かない子供たちの心の問題等、教育者や大人の目線ではなく、子供たち側からみてどうなのか。 確かに 9 年間というスパンでの学習プログラムを組立、早くから学習指導していけば、いくつかの効果は見込まれると思います。中学校に進学した際に新たな友達や環境の変化などに対する不安も報告されている通り軽減されるものと思います。 ただ、小中一貫教育校において学習がままならない子どもやいじめにあっている子供たちへの配慮が今まで以上に必要なのではないかと思います。他の学区への小中一貫校へ自由に転校できるような仕組みもあってもよいのではないかと思います。 学校の再編統合において、通学距離が遠くなる児童の為に、スクールバスや、それなりに資格をもった一般市民の方に送迎から共働き家庭の為に病院へ連れていくなど、子供が安心して生活できるような取り組みがあってもいいと思います。 すでに仕事をリタイヤされた方でいろいろな職業経験を持たれている方を『仮称：こども支援部隊』のような組織を作り登録していただき、少額でも賃金を払い、スクールバスの送迎、勉強の遅れている子供の学習指導、その他スポーツ支援などを行っていくのはどうでしょうか。その『仮称：こども支援部隊』が主催する授業を取り入れて、高岡市の歴史を学んだり、将来の仕事に繋がる技術を身に着けたり、9 年間という期間の中で、先生の負担を分散する取り組みをしていくのはどうでしょうか。
87. 戸 出 中 学 校区 男性 60 代	戸出東部小学校下の者です。 昭和 40 年に戸出地区が高岡市に合併するにあたり、地区内の小学校が東部と西部にまとめられた時代に小学生でした。旧校舎に 3 年通い、事実上統合した校舎に 3 年通いました。 合併された際、旧校舎を離れることには子供心にたいへん寂しかったことを覚えています。新校舎で新たに増えた生徒とは違和感なく接することができました。約 50 年前のことで時代は違いますが、統合された当事者として不都合な点はありませんでした。 当時と統合が検討されている理由は異なるとは思いますが、私の周りには統合による不利を被った、あるいは学校生活に支障をきたした子は居なかったことから、いま再編の理由があるのならそれに従えば良いと考えます。 ※上記のうち、統合を再編、または再編統合と読み替えていただいて結構です。

88. 牧野中学校区 男性 40 代	小中一貫は人間関係の固定化が懸念されるので、中学校時に多様な人材とふれあう機会（他校と交流する機会）の環境整備や支援が必要ではないか。 再編により広域からの通学が予想され、充実したスクールバスの運行が住みたくなるまちづくりに繋がると思う。
89. 牧野中学校区 男性 20 代	市民懇談会（住民説明会）が平日夜間に各地で行われていたのはニュースで知りましたが、自分が住む地区での説明会は終わった後に気付きました。どのような説明会をいつここでします、としっかり周知してあれば良かったと思います。 小中一貫教育のメリットは様々あると思いますが、中学校区によって小中一貫と今まで通りと分かれてしまっでは、不公平が生じてしまうと思います。私立の小中一貫校をつくるのと公立の小中一貫校をつくるのでは意味合いが異なると思います。住む場所によって受けられる教育が異なるというのは、望ましくないと思います。こういった問題を解決しないといけないと思います。 また、小中一貫校にしていくなという議論もありますが、学校の先生の配置の問題もあると思います。働き方改革といわれ、先生の負担は多少和らいでいるとは思いますが、十分な人員配置になっていないところもあると思います。そう言った問題もどのように解決していくのか、総合的に考えていく必要があると思います。小中学校の配置に関してなので、直接関係ないかもしれませんが、大事な問題であると思いましたので記しました。 市民懇談会が終了し、この意見の取りまとめが終わりましたら、広く公開してほしいと思います。どのような意見があったのか。年代によっても考え方が違うかもしれません。今から生まれてくる子供たちにとって満足できる必要な教育を受けられるよう、住民と議論を交わし合い、情報をオープンにして、より良いものにしていって欲しいです。
90. 高陵中学校区 男性 60 代	小中一貫教育は、教育充実を図るにあたり、必要不可欠な施策だと考えます。学校の再編統合にあたっては、それぞれの校区で多々意見が分かれるところであるが、小学校の再編統合にあたっては、特に低学年の登校距離に無理が生じないように配慮願いたい。 現在の校区割でも、あわら町地区においては小学校・中学校とも他校の方が距離的に近く、再編統合によりその距離格差が増大すると考えます。校区割の見直しも検討されるべき課題の一つと考えます。
91. 高岡西部中学校区 女性 50 代	少子化が進む中、学校の統合はいいことだと思います。ただ統合することで、校下の範囲が広域になることで、学校から家までの距離が遠くなる児童も出てきます。特に低学年の子供たちには負担が多くなる。 ついては、スクールバスの運行や、公共機関を利用する場合は補助をする等、考えていただきたい。 また、登下校の途中に子供たちの安全を守るための見まもり隊の充実をお願いしたいです。
92. 戸出中学校区 男性 30 代	骨子案には厳しい財政状況も踏まえて統合が必要とされていますが、統合に必要なとなる初期投資がいくらで、その後の維持費についてどれだけ削減が見込めるのかという試算が出ていないため、判断が難しいです。 上記の数字は各校の事情によって異なるはず（校舎新設なのか既存校舎を活かすのか、必要となる改修の規模もそれぞれ）なので、一律に学級数や生徒数のみで再編する、しないの決定をせず、まずは各校ごとに精緻な数値面での計画を示してほしいと思います。 「高岡ならではの一貫教育」というものが何で、それが分離型だとできない理由も良く分からないですし、そもそも一貫・分離で本当に教育内容に差がつくならそれはそれで問題かと思いますので、結局のところ再編統合については、市民が客観的に判断できる費用対効果の面を優先して進めていただければと思います。
93. 福岡中学校区 男性 30 代	英語教育に力を入れた小中一貫校の設立を希望します。昨年、米朝会談がシンガポールで開催されました。金総書記は学生時代に知の集まるスイスに留学しており、アジア圏やアラブの富裕層とネットワークを築いたとのことです。金総書記は英語力がとても高いので、トランプ大統領と上手くコミュニケーションをとることができました。一方で日本の安倍首相はどうでしょうか。もっと実践的な英語力を身につけていれば、拉致問題なども進展したのではないのでしょうか。 私自身も昨年親になり、子供に「こうなってほしい」との強い思いを持っていますが、子供自身が「こうなりたい」との夢を持つことが最も大切だと感じています。単に難関大学に合格させるための学校ではなく、社会に貢献のできる子供を育てることができる教育環境の創設が必要だと私は思います。ご検討の程、どうぞよろしく願います。
94. 南星中学校区 男性 50 代	児童数がピーク時の 4 割になっている中、小学校統合は避けられない（遅すぎたくらい）と思う。 但し、統合により通学区域が広がるので、スクールバス等の対策は必要である。 また、統合によっての新校舎建設は、財政面、空き施設増加等からも反対である。耐震化した現校舎利用とともに市立公民館の統合等も並行して検討していってほしい。
95. 高岡西部中学校区 男性 40 代	再編統合後に、もとの小学校区を超えるような子供（低学年）の通学方法（安全面を含む）について具体的に示してほしい。 6 歳～12 歳という子ども（小学生）は、地域ぐるみで育てることが最善であり、地域（町内）としても活動（未来）についても検討してほしいです。
96. 牧野中学校区 男性 30 代	今回の検討会では、小中一貫教育について説明されていたが、牧野小中学校について他の校区のようにいくつかの小学校が集まって 1 つの中学校になるわけではないので、小・中学校一貫教育におけるメリットが少ないように思える。 また、中学校の教員が小学校へ行って教育を行うとあったが、担当の教員への負担についての説明があいまいだった。さらに中学生と小学生では教え方にもかなり違いがあるように思えるが、小学校専属の教員を作るつもりなのか？もしそうであればわざわざ中学校から行く必要もないように思える。 今回の説明では、人数が増えることによるメリットが多かったが、人数が増えればいじめや個人に対する教育がおろそかになり、勉強についていけなくなる子が増えるのではないかと懸念する。その辺りも説明していただけたらよかった。 ただ、現状、石堤小学校や太田小学校などはやはり児童数が少ないため、対策が必要になることは理解できた。
97. 高岡西部中学校区 女性 50 代	・小規模校ならではのよさはあると思うが、児童生徒の将来を見据えた視点に立つと適切な規模の集団をつくることは当然ある。そのために再編・統合することで、より充実した教育環境が確保され、質の高い教育がなされることを期待している。 ・校区ごとの特色を生かした取組、市としての支援を望む。例えば、牧野校区は、外国人居住者が多く、地域としても多文化共生を打ち出している。小学校には 7 か国 28 人の児童が在籍しており、日本語指導教室も開設されている。日本語指導教室へのエアコン設置等、ハード面での環境の充実、児童・保護者への適切な支援ができる教員や支援員の配置等、より一層の支援が必要である。
98. 高岡西部中学校区 男性 50 代	・中学校区に小学校 1 校である福岡、牧野、中田は国吉のように小中一貫をすすめていけばよいと思う。 ・今後、外国人労働者の受け入れが増加すれば、外国人の児童生徒も増えると思われる。牧野地区は市の中でも外国人の比率が多く、小学校には 20 名以上の外国人児童がいる。これからも増えると思われる。「多文化共生」という点から、児童の日本語教育の充実、保護者への支援が必要となってくると思う。
99. 牧野中学校区 男性 40 代	・牧野地区は、1 中学校に 1 小学校で中 1 ギャップについては問題とならない。小中一貫を進めるなら今とあまり変わらない様な感じなので、生徒にとってこういう風にメリットがあると具体的に示してほしい。 ・小学校再編（他地区含む）時のスクールバスについて、バスの購入、リース、運転手の確保について、多大な予算が必要ですが、大丈夫ですか。 ・牧野地区では、小学校を卒業し、中学校へ進学するとき、学力を選択、スポーツを選択する場合、他中学校へ進学していく。各地区の特色を中学校に求めるのではなく、市内でも学力やスポーツの特色を求めてよいのではないかと思います。 ・小学校再編、小中一貫等を説明していただく時、行政が把握しているメリット、デメリットについてもっと説明してほしいです。（特にデメリットについて話してほしいです） ・小学校の再編だけでなく、中学校の再編について検討してほしい。 ・教育将来構想計画だけでなく、それに伴う財政計画も説明してください。（今の高岡にそこまでの力があるか示してほしい。エアコンですらなかなかつかないのに大丈夫か心配です。） ・高岡らしい小中一貫の考え方をもっとキャッチフレーズ的に分かりやすく、もっと高岡らしさをだしてほしいです。（少しわかりづらいです）

100. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	高岡市における過小規模校、小規模校における小中学校区の再編統合、小中一貫教育（連携教育）の推進といった教育将来構想に関し、個人的には賛成であります。今後の日本そして世界的に見た社会構造、子供たちの明るい未来、また最も課題となる人口減少などを考えると早急な対応が必要であると思います。 ただ、予算の問題、自治体や既存の小中学校区の住民の方々、保護者の方々との話し合いが、今後重要な課題になると思われます。一人でも多くの方の理解が得られ、子供たちの未来のため、明るい高岡市の創造のためにも計画が邁進することを強く願っております。 また、高岡市教育将来構想の推進にあたり骨子案と重複した点もございますが、以下の事項を検討していただければと思います。 ①遠方となる児童に対しての配慮 ・登下校でのスクールバスの導入（地域により台数・バスの大きさ、往復の回数等を検討） ・体調不良などの理由でも遠方なため自宅に戻れない児童への配慮⇒保健室の設備の充実、医療スタッフの確保、近隣病院との提携 ②グローバル、AI 社会を見据えた教室および教育時間の設定 ・英語教育の充実 ・パソコン教室の充実及び教育の充実 ・パソコン操作の利用回数増（専門教員のもとで休み時間も利用可能、クラブ活動に追加など） ③統合により廃校となる小学校への配慮 ・各校の歴史・文化・伝統ある活動の継承 ・統合した学校に資料室等を設置し、資料、写真、映像等の記録を保管し閲覧できるようにする。 ④PTA における統合後の体制の確立をバックアップ ・統合し小中一貫教育となると、校区の範囲も拡大し様々な見直しが余儀なくされると思います。まずは五位中学校区でより良い体制を有識者等も交え確立し、以後、再編統合する小中学校へ引き継いでいければと思います。
101. 志 貴 野 中 学校区 男性 50 代	今回、志貴野中学校区で「今後の 10 年を見据えた…」の骨子案についてお話を伺った。この校区では、統合等の案はないが、高岡市の児童数の状況等から、一市民としても興味深い話であると思った。 児童数の減少という観点からだけでなく、小中連携教育一貫教育は「学びの連続性」の観点から、児童にとって有意義な取り組みだと思った。中 1 ギャップ等の今日的な課題に対しても効果があると考えられる。是非早期実現に向けて、高岡市として推進していただきたいと思う。 質疑の中で「予算」に関するものがあつた。財政的な問題は、この骨子案を推進していくには避けて考えることはできない。「10 年」という短い期間で実現することは厳しいのが現状ではないかと想像するので、たとえ少し遅れて「15～20 年」の案となったとしても、実現への努力をしていただけたらと思った。
102. 志 貴 野 中 学校区 男性 50 代	①児童生徒は互いに関わりあいながら、学びを深めたり、生き方を見つめ直したりしており、一定規模の児童生徒集団が確保されることが求められると思います。 ②人間関係をうまく築くことのできない児童が増えてきており、クラス替えのできる規模にすることが望まれると思います。 以上のことから、小規模校の再編統合は必要であると考えます。 能町小学校では、育成クラブを希望する保護者の方々が多くおられます。再編統合の際、育成クラブの設置についても並行して考えていただければと思います。 再編統合に際し、小学校と地域の方々との関係が希薄になることが懸念されます。地域の方々との連携を図るコーディネーター的な人材が必要になるのではないかと考えます。
103. 伏 木 中 学 校区 男性 70 代	□学校の規模と配置について ・自分が学んだ学校、子供や孫が通った学校には、誰もが郷愁と愛着があつて、もし、その学校が無くなるということになれば、そうなって欲しくないと思うのは当然のことである。 ・しかし、今の小中学校の現状を見ると、子供たちが健全で適切な教育を受けるためには、決して十分な環境にあるとは言えない学校が多く存在している。 ・そう言う中であつて、この度、教育将来構想検討委員会から出された学校再編の基本的な考え方は、やむを得ない且つ妥当なものであり、遅きに失したくらいである。 □今後、益々進展する少子化を考えた時、この学校再編を速やかに進めて欲しいと考えるところですが、ただ、各学校には歴史的背景や地域実情、将来展望など、それぞれ異なる事情があるので、関係者の意見・要望などには十分配慮して頂きたい。 □小中一貫教育について ・これまでの実践における総合的な評価において、9 9 %が成果を認めており、学校再編にあわせて推進していくことが望ましいと考える。 ・だだ、課題も散見されるので、十分な検証と対策を講じながら、進めて行って欲しい。
104. 南 星 中 学 校区 女性 20 代	再編統合により通学の距離が遠くなるというデメリットがあり、スクールバス運行等の費用が必要となるものの、小規模校の存在は教員の配置や運営維持という点で自治体の負担になることが考えられるため、統合できる学校については進めていければ良いのではと思います。学校数が減る分、教育の質を上げることに労力や費用を使うことができれば更に良いです。子供たちにとっても、多くの友達や先生と出会い、切磋琢磨できる環境にある方が良い刺激になるのではないのでしょうか。また、ある程度の規模があつた方が部活動や課外活動などにも取り組みやすいと思います。
105. 高 岡 西 部 中学校区 男性 50 代	小中学校の配置見直しについては、現下の少子高齢化人口減少時代を迎え、致し方ないと考える。 ただ、一義的には、財政健全化を理由とするものではなく、地域における教育方針や理念とし、将来の高岡市のビジョンや、地域を担う子供達の健全な成長が、市民に期待され、夢が共感できる内容であってほしい。 少なくとも、一部の人達による、先導的な進め方はやめてほしい。
106. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	①規模 クラス替ができる規模が必要だ。 ②配置 宅地開発の動向もふまえた、児童数予測、周辺環境の状況など総合的に判断してほしい。 ③小中一貫 県立高校との連携が必要と思う。優秀な児童が市外に流出している状況を放置しては、人口減少以上の悪影響となる。学業の優秀な児童をさらに伸ばす、特進学級、エリート養成クラス、高岡高校付属学校など、教育にも他市との競争を意識した施策が必要だ。
107. 五 位 中 学 校区 男性 60 代	児童、生徒の減少が著るしい現況から学校の統廃合は止むを得ない。むしろ遅きに失した感がある。 この上は、廃校となる校舎の跡地利用が問題である。解体するのか、建物を有効活用するのか。中途半端な利用は後々に問題を抱えることにもなる。
108. 福 岡 中 学 校区 男性 50 代	福岡小学校は昭和 4 0 年に 5 校が統合して誕生した。当時は 5 教場に分かれて学習しており、新校舎での本格始動は昭和 4 3 年となる。つまり、福岡中学校区は、1 中学校・1 小学校の形態がずっと継続してきたこととなる。 しかし、この 5 0 年近く小中連携に関しては、特筆すべきこともあまりなく、他校とほぼ同様なことをしている。 これから適正配置が進む中で、1 中学校・1 小学校の先進校区としては、よき小中一貫教育のモデル校区として、児童・生徒の 9 年間の学びを協議しなければならぬ。そして、短期・長期で「何ができるようになればよいか」を考え、そのために「何を」「どのように」進めていけばよいかについて模索していかなくてはならないことを痛感した。
109. 福 岡 中 学 校区 男性 50 代	福岡中学校区の高岡市教育将来構想市民懇談会に参加して、次のようなことを感じた。 ・福岡小中学校の特色、特徴、児童生徒の活動の取組の説明（教育長さん）を興味深く聞き入る姿があつた。取組の様子については、学校便り、ホームページ等でも知らせてはいるが、参加した地域の方々の満足そうな表情を知ることができた。 ・地域の方々の意見から、高岡市がこれから進めようとしている教育の充実を期待しているように感じた。（スピード感をもって） ・小中一貫教育というものの具体像を知りたいという意見がいくつかあり、関心の高さを感じた。 福岡小学校・福岡中学校では、小中合同研修会を実施している。今後より一層、小中合同研修会を充実させて、児童生徒の学力観、指導観、評価観の共有を図り、授業改善の促進と学力向上を目指していきたい。

110. 志 貴 野 中 学校区 男性 70 代	今回の検討内容は現行の中学学区割を基本とした延長線上にあり無難な内容となっていますが、思い切って 10 年 20 年後を見据えた構想を各地域住民に提案すべきであると思いました。 <意見内容> 第二章 施設形態、学年段階の区切りについて 6-3 制と 4-3-2 制とあるが、5-4-3 制も検討すべき時期と思います。（高校の義務化を視野に入れた取り組み）現在成人は 18 歳からなっている 第三章 望ましい学校の規模と配置について 第 1 節 2 学校規模及び配置の現状では、平成 36 年において中学生徒数 2,000 人から 3,000 人の規模を対象とした再編統合校区となっているが、高岡市においては校区範囲を見直し、全区域を小中一貫教育とする姿勢を明確に示すべきかと思います。 財政健全化の施策にあるも、将来を担う小中学生は国家、地域の宝です。現状追認型で穏便な方策は地域の賛同は得やすいが、国家 100 年の行く末を見つめ大胆な改革も必要と考えます。皆様のご検討を期待しています。 以上
111. 志 貴 野 中 学校区 男性 70 代	・少子高齢化社会になり、今後生まれてくる子供達は私達団塊の世代からすると、同世代の子供達と競争するのではなく、世界の同世代（中国やインドの秀才、天才達）と生きていくことになる。（競争する、生存） ・子供達の未来を第一に考えれば、骨子案は適正な規模の学校を配置することで「個性」「身体」「学力」を育むことを目標にされており、妥当な方向性である。 ・提案として「越境入学」富山市で一部取り組んでおられますが、各小中学校で入学前に希望者を募集し、学力向上に主眼をおく学校、スポーツに力点を置く、文化活動に力を入れる学校で、特長ある学校づくりをされても良いと思います。 ・スポーツの世界では小さな頃から英才教育をされておりますが心と身体と学力を全て満足される学校教育は、凡人ばっかりの日本人にならないか、心配です。
112. 志 貴 野 中 学校区 男性 70 代	統合が決まっている校区とそうでない校区とで施設の充実や予算そして教育環境に差が生ずる事のないようにして頂きたい。 又、小中一貫校と現状のままの校区とでは教育内容に変化があるのかそれに伴い学業成績にも影響するのか心配しています。子供達が安心して勉強に専念出来るようにしていただければと思います。 将来的な構想ですので子供達が自分で行きたい校区に行けるようにしてみたいかかでしょう
113. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	中学校区単位で児童・生徒数が少ない校区で合併を進めるのは、至極まっとうな方向だと思います。ただし、その中でも特色ある学校づくりを考えて頂けたらと思います。（例えばもっと高岡の伝統産業に踏み込んだ教育等）。 また、小学校合併も新校舎ありきで考えるのではなく、使えるものは使ってなるべく無駄な費用をかけずに進めてほしいです。
114. 南 星 中 学 校区 男性 70 代	先日の説明を元に ①木津小学校 生徒増、博労小学校 生徒減、南条小学校 生徒微減を踏まえて ※木津小学校→木津の庄 etc で増であるが現状で手一杯 南条小学校→やぶなみ駅周辺で住宅ができ将来的に子供が増になる予定がある 博労小学校→増の可能性がない 1、木津の博労寄りの生徒を博労へシフト出来ないか？否か 2、やぶなみ駅の両側の子が木津へ行きたいとの希望があった場合南条小へ強力に進言できないか 一考に価すると思う
115. 戸 出 中 学 校区 男性 70 代	地域とともにある学校づくりを基本に、関係住民の理解と協力を得るには、現状の 1 2 中学校体制は止むを得ないと思うが、南星中学校に含まれる南条・木津小学校のうち一部は、横田小学校と同じように西部中学校に編入することや、芳野中学校に含まれる野村小学校のうちから一部を高陵中学校に編入し、また志貴野中学校に含まれる万葉小学校の小矢部川左岸地区を国吉中学校に編入するなど、適正規模校に近づける更なる長期的再編計画も示す必要が有るのではと考えます。
116. 国 吉 中 学 校区 男性 60 代	本市においても児童生徒数の減少により、教育的効果をより高めるため義務教育学校に改編したり、小学校を再編統合したりする必要があることが骨子案より、理解することができました。 しかも、五位中学校区においては、統合完了期限が具体的に示してあり見通しがもてます。他の 5 つの中学校区においても小学校の再編統合契機に小中一貫教育を推進することが示され、本市の中学校区の進むべき道が見えています。五位中学校区の具体的な動き、成果を受け、それぞれの 5 つ中学校区が競うように具体的な動きが見られるのではないのでしょうか。必要なこと、大切なことは、やらねばならないことを進めるには、住民、保護者の方に理解していただき、賛同を得ることが重要です。今回も、各校区での丁寧な市民懇談会を開くことで 6 つの校区だけでなく他の 6 つの校区においても小中一貫教育の必要性に共感されていることと思います。住民の皆様へ骨子案の浸透が新聞等でも報じられている中、今後は、小中の教職員間での小中一貫教育に向けて、より実りのある交流、研修を有意義に行っていくかが学校の課題です。
117. 芳 野 中 学 校区 男性 50 代	・教育長さんからの説明を聞いて、改めて、高岡市の少子化が進んでいることを痛感した。 ・40 年以上、手つかずだった学校の統廃合には痛みを伴うのは当然である。いろいろと意見を聞いた上で、高岡市としての施策として、積極的にしかも迅速に統廃合を進めるしかないと感じている。 ・質疑応答の問題集は、当然、作成しておられたとは思いますが、すべての質問や意見に対して教育長さんが誠意をもって対応しておられる姿が印象に残った。 （逆に言えば、他の参加者の役割分担はあったのか？参加者の紹介があってもよかったのでは？） ・結びに、最後に各学校長からの話の時間があったが、本当に必要だったのか？時間が延びていたこともあり、省略してもよかったのではないかと？
118. 芳 野 中 学 校区 女性 40 代	・「小中一貫教育の推進について」 この懇談会に参加して、芳野中学校長先生のお話から芳中校区で小中一貫教育のため、4 つの部会をたちあげてくださったことを知った。私の 5 年生の子どもが連合音楽会の練習のために芳野中学校から合唱の先生が教えに来てくれたと喜んでいたのを思い出した。情報共有することで、子どもたちの教育が充実したものなることは、間違いなく親としては大変ありがたい。が、保護者と先生の関係が昔とは全く異なっている今、先生方の負担も大きくなるように思う。新しい事を始めるには、メリットもあればデメリットももちろんあるわけで、先生方の負担も含め、慎重に進めていってほしい。 ・「小中学校の配置について」 児童数の減少に伴い、再編統合は仕方のない事かなと思う。芳中校区は再編統合の対象ではないが（もしかしてその対象になっているならこの芳野中学校区の懇談会をもっとたくさんの参加があったかも・・・）対象となる校区の市民懇談会の様子がとても気になった。国が定める望ましい学校規模と配置に納得し、賛成されているのだろうか？各地区の市民懇談会での意見など高岡市のホームページでおしえてほしい。二塚小学校の校長先生が学校の様子を紹介されていたが、「人数が少なくても少ない強みがある」という事を強く感じた。再編統合に反対する気持ちはないのだが、少人数で先生の目の行き届く学校環境に魅力を感じてしまうのは私だけであろうか。 今後 10 年を見据えた高岡市の小中学校配置の方向について、この懇談会に参加することにより少し理解できた。「高岡に生まれて良かった」とみんなに言ってもらえるようにしたいと米谷教育長が言っておられた。10 年という年月で、もしかしたら状況も変わってくるかもしれない。しかし、どんな時でも全ての子ども達が心健やかに成長してくれるよう、学校・家庭・地域が協力しあうことは不可欠だと思う。
119. 高 陵 中 学 校区 男性 40 代	先日、平米・定塚地区の公聴会に参加しました。残念だったのは該当する子供の親や将来就学するであろう子供の父兄が参加していなかったことです。 私的には 5 年後や 10 年後と言っていないで、今すぐにもでも統合して楽しい学校生活を子供たちには送ってほしいという事です。 先日 P T A 執行部の会議があり、校長先生や P T A 幹部とも話をする機会がありましたが、執行部の殆どは統合に賛成であり、幸いにも定塚小学校には英語教室と P T A 室を開放して部屋の改修を行えば平米小学校の児童の受け入れはすぐにでもできるという事がわかりました。 費用がかかる「プレハブの臨時校舎」を建設する必要も全くなく、簡単な改修工事の後、時間をみて敷地内に新校舎を建設し、氷見線をまたいで行き来できるようにすればグラウンドの問題も考えなくてよく、新しい用地の買収なども考えなくてもよい為工期の短縮と予算の削減ができると思われます。 私の子供は現在、定塚小学校 4 年生です。小学校に上がる前は坂ノ下保育園にいたので、その時の卒園児童は 7 名が平米小学校、6 名が定塚小学校、残りが下関小学校に行きました。という事は殆どの子供が高陵中学校に行くことになります。 坂ノ下保育園の時のお母さん方や子供とは今でも道で会っても仲良くあいさつしますし、子供の近況を聞いたりもします。 地域のお年寄りの意見は確かに大切です。大変失礼な言い方かもしれませんが、その方々が今後 5 年後に生きている可能性の事を考えるよりは、今の子供たちの事を考えて、スピードのある大改革が必要かと思われます。 問題は学童の教室の不足ですが、これは旧小学校の一部を利用して作るか、新校舎を建設する際にあらかじめ確保するようにした方がよいと思います。 定塚小学校と平米小学校の名前がなくなるかもしれませんが、高岡市立高陵小学校（仮）でいいと思います。

120. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	特に意見はございません。 児童数の減少により、致し方ない事だと思います。ただ地域の小学校が無くなってしまうという事は、地域が寂れていく要因にもなりうると思いますので、地域のサポートやケアなど、地域社会との連携を保つような努力は必要だと感じております。
121. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	本検討会議の資料、分かり易く、まとめられているかと思います。大きな時代の流れかと感じる部分もあります。一方、木津、川原、能町、野村、牧野の各小学校の平成 36 年の平成 30 年比で大きな増加が見られるのですが、地域、物理的、交通網的要因として何があるのか考察された事はありませんでしょうか？ 市 P 連での会議等で機会がありましたらお聞かせ頂ければと思います。自分の住む地域に対し、何らかのヒントになるのでは？と思う所もあります。
122. 志 貴 野 中 学校区 男性 40 代	高岡市におけるこれまでの連携教育の取り組みについては評価する。今後も維持されると思うが、これまで通りに小中相互の交流に努めていたきたい。 個人的には、小中一貫教育について、マイナスイメージが無い。有名私立や都心の進学校では既に導入されていることから実証済みであると思われる。この骨子案には 5 つの校区の小中一貫教育を推進することが望ましい旨の記載があるが、正直、非常に羨ましい。(私は志貴野校区なので…) 幸か不幸かはさておき、今度、本市には小中連携教育と小中一貫教育が混在することになるが、互いのメリットを生かし、カバーし合い、成果を認められるような教育行政を展開していただきたい。上手く表現できないが、互いにない部分を補い合い、得られた知見を共有し、質の高い教育になることを願っております。
123. 高 陵 中 学 校区 女性 50 代	【一市民として】 本市は厳しい財政状況下であり、現在、将来の世代に大きな負担を残さないように様々な取組が行われているところである。一市民として、この現実を真摯に受け止め、市の取組を理解し、できる範囲で協力していきたい思いである。 【一教員として】 学校教育に携わる者としては、多様化・複雑化した教育諸課題解決のためにも、学校の規模・配置の適正化をお願いしたい。 小規模校では、単級化が進み、固定された人間関係の中で児童同士が切磋琢磨する機会が減ったり、自分の資質・能力を伸ばそうというモチベーションが下がったりしている。「クラス替えができる規模」「運動会等の学校行事等で活性化が図れる規模」「少人数指導・教科担任制等のきめ細やかな学習指導ができる規模」が望まれる。また、教員は、1 人当たりの校務の負担が重くなったり、授業の準備に十分な時間を確保できなかったりする。活力ある学校を創っていくためにも、教員同士も切磋琢磨できる環境を整えていただきたい。 ふるさと高岡の未来をたくましく切り拓いていく子供を育てるために、小中学校の配置について、格別のご配慮をお願いしたい。
124. 伏 木 中 学 校区 男性 50 代	高岡市の小中連携教育・一貫教育の推進には賛成である。少子化が進む中でいかに教育効果を上げていくかは、高岡市にとっても地域にとっても大変重要であると思う。また、小中がより連携し、9 年間を見通した教育ができればと思う。 現在、守山小学校と二上小学校の統合から 40 年の歴史をもつ万葉小学校は、統合により教育効果を上げた学校の一つであると思う。現状や成果等をいくつか考えてみたい。 ○統合当時は児童数 698 名、19 学級であった。統合により、クラス替えができる規模になり、児童同士の多彩な関わり合いがなされたと思う。教職員も多く、学校教育目標達成に向けて工夫したいろいろな取組がなされたと思う。今日現在、児童数 201 名、10 学級ではあるが、統合がなかったらより小規模校になっていた。 ○両地区ともに自然に触れる体験活動ができる。児童は徒歩で登下校ができる範囲である。 ○守山地区と二上地区の方々万葉小学校に愛着をもち、お互いに協力しながら学校に対して多大な支援を行っている。万葉小学校を通して両地区の連携・協力が強化されたと思う。 (例)・教育振興会会長や学校評議委員、PTA 会長等は、守山地区と二上地区から順番に担当していただいている。両地区の立場から学校に支援をいただいている。 高岡市における小中学校の配置には、各地区毎に課題はあると思うが、みんなで知恵を出し合い協力して取り組むことで、将来を担う児童生徒の育成に効果が上がることを願っている。
125. 戸 出 中 学 校区 男性 60 代	小中一貫教育は基本的に賛成です。この事により先生の負担軽減を一層推し進めるべきと考えます。当然スクールバスの導入を考えておられるものと推察します。 ※学校の望ましい配置の中で、オの中田小学校区においては 1 中学校、1 小学校であり、小中一貫教育が望ましいとありますが、福岡中学校区も同条件ではないでしょうか。 (人数の差はありますが) 当然、触れるべきでは？
126. 戸 出 中 学 校区 男性 40 代	小中一貫教育については高い評価が得られているとのこと。 骨子案では、今後 10 年で 12 中学校区のうち 5 + 1 中学校区の再編統合が計画されている。他の残りの中学校区の再編統合についてはいつを予定されていますか？ 高い評価が得られている再編統合であれば、もっとスピーディーに進められませんか？戸出中学校区の再編統合はいつですか？ エアコンの設置に関しても、何年も前から要望があるにも関わらず、設置計画が発表されたのが昨年でした。予算や統合等の色々な事情があったにせよ、「遅い」 私用の様々な寄り合いや集会で耳にするのも同様の意見です。世の中の一般企業の感覚ではありえないほどに全ての動きが「遅い」と感じます。迅速に対応をお願いいたします。
127. 戸 出 中 学 校区 女性 40 代	小学 4 年の子を持つ母親です。私自身は県外で育ったため通っていた小学校との違いを感じることがあり、高岡市の取り組みや考えがわかればと、先日の懇談会に参加しました。 多種多様に変化し続ける社会に適応するため、小中連携・一貫して子供たちを育てていく意義は理解できました。 英語やプログラミング教育など、身につけていけば世界どこに出ても適応できる人材は生まれていくと思います。 ただ高岡市に根付く子供たちを育てる要素はと思った時に、具体的に見えてきませんでした。 先日 NHK E テレで放送された「課題解決ドキュメント ふるさとグングン！」という番組で、廃校寸前までになった高校を再生させ若い人達が増えた島根県海士町の取り組みと、それを取り入れていこうと行動する宮城県気仙沼の人たちの交流がありました。そこでは高校生でしたが、地域の課題について学習し解決方法を考え、地域住民と共に実行していく科目を作ったり、公立で将来の夢を考えていく塾を作ったりしていました。 小中で同じレベルのことは難しいと思いますが、毎年段階的に取り入れることで、連携・一貫だからこそ続けられることがあるのではと感じました。適応力の高い人材が多くいる高岡市になる、その基礎作りができる小中連携・一貫を望みます。
128. 戸 出 中 学 校区 男性 40 代	小中連携、一貫ともすぐに行動をしてほしい。子供の成長はたくさんの生徒の中で切磋琢磨し競走がある事で成長していく。小学生においては中学生の背中を見る事で成長や学びが早まる。中学生においては小学生という年下を見る事で大人として成長を実感できる。 課題として生徒の移動手段や移動時間、教職員の負担が上げられてはいるが、朝、夕と通学路に巡回バスを出し対応をする。車社会の高岡においては毎日、空で走っているバスが大変多く見られる。日中の本数を減らし通学路、通学時間に回せば十分対応できる。バス会社には毎年補助金がありており最優先に検討していただけたら考える。先生方の負担に関しても十分承知するが少子化が進みつつ、生徒数が減であり、どの職種も多忙で負担増があり教職員だけが多忙とは言えない。 既存の統合に近い形である国吉小、中学校に数か月単位でも派遣し、できる限りの多くの先生に一貫性に近い環境に事前に慣れて頂きたい。 そもそも論だが基本的な考え方の中にプログラミング、英語教育とあるが、今の時代のスピードにはあっていないのではないか。 英語を話せる事に越した事はないが、英語が話せた方が良い時代は私たち保護者の時代までだ。現在、英語は話せなくてもスマホが数ヶ国語、同時通訳してくれる時代で、既に英語は話すよりも扱う時代にきている。 戸出西部小学校の武田先生はブラジルの日本人学校に勤務していたとお聞きした。非常に良い取り組みで生の声が生徒に行きわたり先生にも日本の生徒と意欲ある海外の生徒を比較でき、日本の現状が今どの位置にあるのか把握できる。現にアジア後進国は 1 / 5 だった物価が今は半分ほどまでに上げ日本に追いつかんまでの水準である。貧困で学校に行けなかった子供がスマホ一つで世界中の情報を手にし、自ら学びたい子がいつでも勉強できる機会が与えられた。 高岡市だけでも多くの先生方に外国の日本人学校や姉妹都市の教育現場を経験し肌で経験し感じた事を教育現場に取り入れ小中一貫の枠だけにとらわれず子供たちが 10 年後、社会に出た時、国際社会に負けない人間を育てて頂くよう切に願う。 ※小中一貫を直ぐにでも取り入れ対応。大きな会社であれば社員の去向や海外勤務もある。先生方には小、中学校の枠をなくし、小中一貫教育にて潤滑な勤務を模索し数多くの海外姉妹都市も視野にいれ教職員の視野拡大に努めて頂きたい。 ※身の丈に合った運営。無駄はないか？予算の多くが年寄りの声ばかりに取り入れられていないか？どうしても高岡の財政難が課題となる。都市計画課と連携し既存の学校の活用方法を模索。例えば戸出に 10 億で防災センターを建設予定と聞いたが既存の学校施設を使えば財政難の高岡市民の理解も得やすいのでは？全クラスにクーラー設置の予算がついたとの事だが長い夏休みがあるのに本当にクーラーは必要なのか？またクーラーを付けたのであればその分、夏休みは減らすのか？統合する学校に今からクーラーはつける必要がないと考えるがランニングコストの問題含め要検証。昼休みにプールにでも入れればそれなりに体は冷えると思うが…

129. 芳野中 学区 男性 40 代	・ご説明有難うございました。今後の検討や市民への説明において、以下について言及頂けると幸いです。 < H30. 11. 28 骨子案の 7 P > ・ 3 学校の望ましい配置の説明にある「高岡ならではの小中一貫教育」の具体的内容 ・「小学校の再編統合を契機に小中一貫教育をさらに推進」における複数小学校のある校区での小中一貫教育の推進方策（一小学校・一中学校校区と同等の教育充実が図れるのでしょうか）
130. 高岡西 部中 学区 男性 50 代	・自分は高岡西部校区ですが、西条・川原・横田小の統合が、高岡市における学校再編、小中一貫教育に関するモデル校として早急に形になれば良いと思います。高岡西高校のこともあり、予算的な優位性を率直に生かし、少子化社会への対応策の検討材料になるべく先駆け校としてスタートされることを望みます。 ・横田小はほぼ各学年 1 クラスで、クラス替えがなく、スポーツ少年団の単独校チームもありません。野球チームは、数年前から西条と横田が統合されました。大好きな野球ができる喜びは当然あると思いますが、隣の学校にも友達がいるという楽しみや少なからず他の小学校の情報も得られているでしょう。また、中学校の野球部にそのまま皆で入部出来るメリットもあるはずです。なので、スポ小については子供たちにとっては、あまりデメリットはないと思いますが、指導者や保護者会の苦労話はよく耳にします。クラス替えがあれば、いろいろな仲間と巡り合えるというメリットがあります。それは、上級生や下級生にもたくさんの児童がいれば学校全体のなかで、いろんな仲間との出会いがあるということです。まちがいなく、視野が広がり、いろいろな人との付き合い方を学ぶことができ、良い意味での上下関係（先輩後輩の仲）も子供たちを成長へと導いてくれると思います。自治会レベルでのシステムの構築などはたしかに困難だと思いますが、我々高岡の宝である子供たちの輝く未来のために、早急な具現化を期待します。 ・迅速な地区ごとの説明会も開催していただき有難いと思いますが、この再編、小中一貫教育校に対する市民の不安点や疑問点のポイントは、「親」と「地域住民」とでは多少違いがあると思います。「親」側は、通学手段と確実なスタート時期について。川原や横田の住民側にとっては、学校建物の利用、各団体・組織等についてだと思います。対応、道筋を固められ、それぞれ別に説明会等を開催されれば良いと思います。 ・親として、大人としての目線でつつい考えてしまいがちですが、このような問題に、実際の環境に直面していくのは子供たちであります。子供たちが、不安を感じないよう、更なる夢や希望を抱くことのできるよう、充分考えて、真剣に取り組んでいきたいと思います。
131. 牧野中 学区 男性 70 代	1 少子化の状況は、地域の子供たちの少なさを皮膚感覚で感じていたが、実態を数字で示されたことで、その状況の悪さの認識を新たにした。特に中心部の著しい減少状況に驚く。 2 全国的に小中一貫教育が進みつつあるのは知っていたが、それが H28 年の学校教育法の改正により義務教育学校なる概念ができたことは初めて知った。 3 資料によれば、S56 年をピークに平成 10 年～15 年にかけ生徒数が 1 万人を切り、17 年には 50%に到達していたことがわかるが、そこから更に 1 0 数年後の現在で 40%を切るという状況。 4 経済界ならば、マーケットの縮小は、放置すれば倒産にもつながるため、事業見直し、営業方針の改革、拠点の集約や見直し、人員配置の見直し削減というリストラ対策を打つ。構造的な縮小となれば、場合によっては撤退ということになるのだが、教育という分野においてはそれが許されないだけに、もっと早く対策を講じておくべきであったという感が強い。 5 学校教育法と、学習指導要領の改定と相まって、H3 0 年 4 月当市でも具体的な対応策が検討されたということで、遅きに失したという感はあるが、ようやくこれからの行く道が示されてというべきか。わずか 6 か月余りでここまでまとめられた努力は多としたい。 6 今回検討案は今後 1 0 年を視野にということだが、先行事例では、メリット面が多いとみられるので、より前倒しの実現を考えるべきだろう。 7 もちろんそれには、該当校区地元の理解や、当事校側の態勢整備に合わせ、財政的裏付け等も必要となろうが、高岡市においても、財政多難の折ではあるが、積極的に予算付けをしていくべきであろう。 8 なお、この計画を進めていくためには、教職員の負担が増える様では、昨今の働き方改革での動きに逆行することとなるから、その辺りは十分注意していくべきと思う。 ※牧野地区においては、校舎の老朽化と今後の生徒増に鑑み、牧野中学校の増改築を検討内容の取りまとめの中に是非取り入れてほしい。
132. 高岡西 部中 学区 男性 40 代	高岡西部中学校区が、市内での最初の小・中一貫教育 モデル校となるように、迅速に進めていただきたいと思います。
133. 高陵中 学区 男性 40 代	■平米・定塚小の統合について『賛成 』です。 校内の児童数が増える事で、様々な考え方・価値観に触れる良い機会を得られると考えます。 その一方で、少人数の中に比べて、多勢の中では自主性や主体性を発揮する機会が減少することを懸念しています。 足並みをそろえた画一的な教育を進めるためには、子どもの多様性を犠牲にせざるを得ない局面も多く、小さな可能性の芽が摘み取られることも起こり得ると思います。 こうした状況が起こる事を極力防ぐために、教員の負担軽減に繋がる煩雑な業務の改善などを推進して余裕ある指導が行えるよう支援体制を整えるとともに、教員自身の知見やスキル向上のための機会が増えることも大切にしていきたいです。 今後、より一層、個性を伸ばす事が社会で生きる力に繋がると考えますので、大人数の中にあって「隣りと同じ」で安心するのではなく、「違いを楽しめる」教育環境が形成される事に期待したいです。 以上ご確認の程宜しくお願いいたします。
134. 高岡西 部中 学区 男性 40 代	高岡西部中学校校下は年々人口減少に伴い小中学校の生徒が少なくなっているのが現状です。先日の説明会ではわかりやすく丁寧に説明いただきありがとうございました。 これからの事を考えるとやはり生徒同士が競い合い学習することの大切さを学ばせる事が真の教育だと思います。そういったことからいち早く学校再編をして欲しいと願う一人です。幸い西条小学校の隣に県立高校がありその高校も何年後には再編であきになります。小中一貫校の先駆けになれるよう私たちもご協力致しますので教育委員会の皆さんも沢山のお知恵を借りて、やってよかったと皆に思えるような素晴らしい再編を期待しています。宜しくお願い致します。
135. 伏木中 学区 男性 30 代	再編により、太田小学校は伏木地区で統合されると聞きました。自分の子供は高学年のため、個人的には小学校への影響はなく直接的には関係はないが、以下について疑問が残るので意見とする。 ・人数の少ない所は複式学級を経て統廃合されているように思う。すぐに統廃合するのは如何なものか。氷見地区でも統廃合で小学校が無くなった所は、過疎化がより進んでいると聞いている。小学校がなければ不便を感じ、学校に近い所へ移住するというのは誰しも考えるところである。太田地区は松太枝浜・義経岩など富山県の観光を支える大きな役割を果たす地区だが、統廃合で過疎化が進めばその維持をする地区の人口が減って行く事に危機感を覚える。統廃合は子供の教育に必要なになっていくと思うが、将来展望をしっかりと見据えた議論をお願いする。
136. 伏木中 学区 不明	1 人の意見として、少し書かせていただきます。まず、伏木地区の小学校再編については、それぞれの立場から様々な意見はもちろんあるとは思いますが、3 校を 1 校にしていく方向で進めるしかないのだと思います。賛成ではなくても、保護者の方々は、仕方がないことだと思っておられるとお聞きします。昨年 12 月のコミュニティセンターの会合に出席しましたが、伏木地区の人口減少は著しいものがあり、将来がかなり不安になりました。再編することで、子供達がより良い環境で、学習や様々な活動ができるようになることを期待します。ただ、これからの課題を決めていくうえで、いくつかの意見があります。多分、保護者の方々は再編には反対ではなくても、3 校が 1 校になった場合、それがどこか 1 つの学校を母体としたものに合併されるのか？それとも新しい学校をつくるのか？が気になってくるのだと思います。（見えるものではなく）特に伏木地区は、特に小学校ごとに地域との連携で継承されている行事が多々あり、この先 1 校になる場合にはそれらに関する具体的な話し合いや、各学校の保護者や地域の方へのアンケートを依頼したり、今後の課題を見つけていく場を設けて欲しいです。PTA をしている人だけでは意見が偏っていると思います。幅広い方々の意見も聞いていただきたいです。去年開催された、高岡市未来構想で中学校区ごとに行われた意見交換会も、直接保護者が担当しておられる方達と意見交換できる有意義なものであったと思います。少しでも再編に関わる方だけでなく、地域の方にも賛成してもらえる方向に進んでいくことを期待しています。長々と失礼致しました。

137. 伏木中学校区 不明	・小学校の統合、小中一貫教育に関しては児童の数も減ってきているので、自然な流れだと思う。 ・小学校から中学校まで、顔見知りになるのは、子どもにとって良い事だと思う。 ・小1～中3までの子ども達が、一緒に学校にいることは、社交性や協調性や思いやり等が得られ良いと思う。 ・小1～中3までの子ども達が一緒に生活する事で、良い影響もあるかもしれないが、いじめや素行の良くない中学生を見る小学生に対する影響はどうか心配である。 ・小学校の高学年になると、友達関係も深まってくるので、3校区の範囲で友達の家など放課後に遊びに行く事もあるかと思う。広範囲になると親が、把握出来なかったりするのではないかと思ひ不安である。 ・9年間ずっと同じ顔ぶれになった時、良い人もいる反面、一度いじめなどがあつたりした人にとっては、苦痛な9年間となり、不登校が起きないか、心配である。 ・地域ごとに、派閥が出来ないか心配である。 ・歴史が、それぞれある学校が無くなるのは寂しい。今後、色々な歴史ある行事などは、継承されるのか、途絶えてしまうのか疑問に思う。 ・行事の時の駐車場は、どうなるのか心配である。 ・学童はどうなるか明確にしてほしい。 ・年齢に合った施設になるよう改良したり、学童保育の場所も必要となつたりしてくると思う。統合によって、子どもや保護者が住みづらさを少しでも感じないように配慮していただけると嬉しい。 ・通学距離が大幅に伸びる人には、安全面からもスクールバスは必要だと思う。 ・太田地区の子どもだけではなく、伏木小学校地区の子ども達の通学距離も考えて、スクールバスをだして欲しい。 ・徒歩圏内でも大通りを渡るとなると危険も増えるので、交通安全の強化をお願いしたいと思う。 ・登下校の時に小学校1年生を十間道路に歩かせるのは、心配である。 ・スクールバスに乗れない距離の人が、自家用車登校になつたりし、学校の付近が渋滞になるのではないかと思う。 ・小学校の近くだからと思ひ、付近で住宅を購入した人にとっては、ショックである。 ・今まで、学校の行事(特にバザー)を楽しみにしていた高齢者の方が遠くなると気軽に行けなくなるのではないかと思う。
138. 福岡中学校区 男性 40代	福岡中学校区の市民懇談会に出席させていただきました。また、以前にも、高校普通課の再編温暖会にも出席しておりました。 どの人口減少についての話題でも、私達（昭和45年頃）の出生後から既に減少し、高齢化が進んでいたことを再認識させられますが、教育のハード面においては、その頃の出生状況から、児童数が増加を見据えて、教室の増室や新設高校設立などの、より教育環境を整えていただいた時代なのかと改めて思います。 中学校区における小学校の再編については、スクールバスのハード面や、その小学校毎の地域活動の相違や、財政などの今からの課題があるとは思いますが、大人の都合ばかりのような気がします。早期の解決策にて、小1－中1にて、進められれば良いかと思ひます。子供たちは、その時代に生まれ、その環境には勝手に馴染むものだと思うので、大人の今までの風習にとられるのではなく、今後の時代にあつた方向性を子供たちや次世代のために、変えていく方向でよいと思ひます。（福岡小学校の通学範囲は広いですが、私達は、入学したとき、既に、それをあたりまえとし、元気に通学させていただいていたのですから。） 小中連携・一貫教育については、今回の骨子案の成果と課題を拝見いたしました。施設一体であれば、学年段階区切については、4-3-2が57%あるのですね。わが子や近所の子供の成長を考えると、確かに、小学4年生と5年生、或いは、6年生で、急激に成長が変化しています。施設一体や隣接であれば、子供の成長に合わせて区切したほうが、子供たちの上下関係の責任感を持ちやすく、教職員方やPTAや地域の負担も減り、かつ、より有効なコミュニケーションが測れ、より活発な地域とできるのだろう、と思ひました。 併設型で施設分離となると、どうしても、子供たちの区切りの明確化や、また、子供たちの交流するべき移動手段や、教職員方の授業や会議の移動時間なども負担となってきます。もしこの対応事例がありましたら、教えてください。福岡校区のような離れた小中学校のメリットを見出せたらよいかと思ひます。挟まれた地域は子供たちが常に行き来するエリアとなるため、通学環境をより整える必要はありますが、子供達を常に見守ることにより、子供たちとのコミュニケーションがとれ、子供たちと共にPTAや地域と一緒に元気に楽しくこの時代を成長できれば良いかと思ひます。 つたない意見ですが、ご了承ください。